


## **Z 9 活用ガイド**

(ファームウェアバージョン 5.00/5.10  
補足説明書)

# 目次

ファームウェアバージョンアップによる変更内容 (C:5.00) .....	5
ファームウェアバージョン (C:5.00) による機能の追加・変更について.....	5
ファームウェアバージョンについて.....	5
ファームウェア (C:5.00) による変更点一覧.....	6
静止画撮影関連.....	6
動画撮影関連.....	6
再生関連.....	6
操作関連.....	7
表示関連.....	7
ネットワーク関連.....	7
ピクチャーコントロールに [リッチトーンポートレート] が追加.....	8
「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影に C15 が追加.....	9
「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質を設定する機能が追加.....	10
静止画撮影メニューにノイズ低減処理の種類を選ぶ [高感度ノイズ処理モード] が追加.....	11
静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [美肌効果] が追加.....	12
静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [人物印象調整] が追加.....	13
調整モードの登録方法.....	13
登録した調整モードの適用方法.....	14
高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加.....	15
周波数の切り換え方法.....	15
周波数の値を調整する.....	17
静止画撮影メニューで設定する.....	18
オートキャプチャー撮影機能の変更と追加.....	20
カメラでのマニュアルフォーカス設定に対応.....	20
撮像範囲 DX に対応.....	20
レリーズモード [C15] および [C60] に対応.....	20
設定画面の表示と項目名の変更.....	21
[詳細条件：距離] で設定できる範囲が拡大.....	22
被写体検出対象に飛行機が追加.....	22
[開始日時指定] の追加.....	23

オートキャプチャー撮影実行時に黄色の枠が表示.....	23
Profoto A10 を AF 補助光として使用可能.....	24
ハイレゾズーム機能の変更.....	25
合焦表示の色が変更.....	25
サブセレクターでの操作が可能.....	25
外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める機能が追加.....	26
動画再生時の <i>i</i> メニュー項目に [再生の速度] が追加.....	27
再生時の <i>i</i> メニュー [画像編集] に [画像編集機能のカスタマイズ] が追加.....	28
再生メニュー [グループ再生の設定] に [自動連続再生の設定] が追加.....	29
再生メニューに [縦横位置情報の記録] が追加.....	30
静止画モードと動画モードで個別に撮影モードを設定可能.....	31
カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加.....	32
カスタムメニュー a14 として [MF 時の絞り開放 Lv] が追加.....	33
カスタムメニュー d19 と g17 として [半押し拡大解除 (MF)] が追加.....	34
カスタムメニュー f1/g1 [  メニューのカスタマイズ ] に機能追加.....	35
撮影機能の呼び出し中に露出補正とホワイトバランスの設定の変更が可能.....	36
カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加.....	37
カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加.....	38
機能を割り当てられるボタンの追加.....	38
追加された機能.....	39
セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)] での物理フォーマット方法の変更.....	42
撮影画面の表示が最大 400%まで拡大可能.....	44
メモリーカード高温注意表示の位置が変更.....	45
スマートフォンとの無線接続方法として [Wi-Fi 接続 (ステーションモード)] が追加.....	46
既存のネットワークに接続する (Wi-Fi ステーションモード).....	46
スマートフォンと直接接続する (Wi-Fi アクセスポイントモード).....	53
Wi-Fi ステーションモード/Wi-Fi アクセスポイントモードの解除方法.....	54
FTP 接続設定で FTP のポート番号の指定が可能.....	55
ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] に [送信時の HEIF 変換] が追加.....	56
リモートグリップ MC-N10 と AirGlu アクセサリーの併用が可能.....	57
ファームウェア C:5.00 でのメニュー・初期設定一覧.....	58
静止画撮影メニュー.....	58

動画撮影メニュー.....	60
カスタムメニュー.....	62
再生メニュー.....	69
セットアップメニュー.....	70
ネットワークメニュー.....	72
マイメニュー/最近設定した項目.....	73
ファームウェア C:5.00 での主な仕様.....	74
<b>ファームウェアバージョンアップによる変更内容 (C:5.10) .....</b>	<b>87</b>
ファームウェアバージョン (C:5.10) による機能の追加・変更について.....	87
ファームウェア (C: 5.10) による変更点一覧.....	88
動画撮影関連.....	88
操作関連.....	88
撮像範囲設定が DX の場合もハイレゾズームの使用が可能.....	89
カスタムメニュー g10 として [パワー/ハイレゾズーム連携] が追加.....	90
カスタムメニュー g13 として [シャッターモード] が追加.....	92
カスタムメニュー g15 [ゼブラ表示] に [ゼブラ表示の色] が追加.....	93
カスタムメニュー g18 [輝度情報の種類] に輝度情報の表示をカスタマイズする機能が追加..	94
カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加	95
[パワーズーム位置の登録/呼び出し] .....	95
カスタムメニュー f10 として [ズームリング操作 (PZ レンズ)] が追加.....	96
カスタムメニュー f12 と g9 の [パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ)] の名称と機能が変更	97
セットアップメニュー [メニュー設定の保存と読み込み] に対象項目が追加.....	98
<b>索引.....</b>	<b>99</b>
索引.....	99
マーク・英数字.....	99
ア行.....	99
カ行.....	99
サ行.....	99
タ行.....	99
ハ行.....	99
マ行.....	99
ラ行.....	99

# ファームウェアバージョンアップによる 変更内容 (C:5.00)

## ファームウェアバージョン (C:5.00) による 機能の追加・変更について

Z9「活用ガイド」の内容は、ファームウェアのバージョンが C:3.00であることを前提に説明していません（最新の活用ガイドはダウンロードセンターからダウンロードできます）。

- お使いのカメラのファームウェアが C:4.00 および C:4.10 の場合、「Z9 活用ガイド（ファームウェアバージョン 4.00/4.10 補足説明書）」の内容が追加または変更されています。補足説明書はダウンロードセンターからダウンロードできます。
- お使いのカメラのファームウェアが C:5.00 の場合、この章の内容が追加または変更されています。

## ファームウェアバージョンについて

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー [ファームウェアバージョン] で行えます。

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- **スマートフォンをお使いの場合**：SnapBridge アプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

# ファームウェア（C:5.00）による変更点一覧

カメラのファームウェアを C:5.00 にバージョンアップすると、次の機能に変更があります。詳しくは各参照先をご覧ください。ファームウェア C:5.00 でのメニューおよび初期設定については「ファームウェア C:5.00 でのメニュー・初期設定一覧」([🔗 58](#))をご覧ください。

## 静止画撮影関連

- ピクチャーコントロールに [リッチトーンポートレート] が追加 ([🔗 8](#))
- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影に C15 が追加 ([🔗 9](#))
- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質を設定する機能が追加 ([🔗 10](#))
- 静止画撮影メニューにノイズ低減処理の種類を選ぶ [高感度ノイズ処理モード] が追加 ([🔗 11](#))
- 静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [美肌効果] が追加 ([🔗 12](#))
- 静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [人物印象調整] が追加 ([🔗 13](#))
- 高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加 ([🔗 15](#))
- オートキャプチャー撮影機能の変更と追加 ([🔗 20](#))
- Profoto A10 を AF 補助光として使用可能 ([🔗 24](#))

## 動画撮影関連

- ピクチャーコントロールに [リッチトーンポートレート] が追加 ([🔗 8](#))
- 静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [美肌効果] が追加 ([🔗 12](#))
- 静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [人物印象調整] が追加 ([🔗 13](#))
- オートキャプチャー撮影機能の変更と追加 ([🔗 20](#))
- ハイレゾズーム機能の変更 ([🔗 25](#))
- 外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める機能が追加 ([🔗 26](#))

## 再生関連

- 動画再生時の *i* メニュー項目に [再生の速度] が追加 ([🔗 27](#))
- 再生時の *i* メニュー [画像編集] に [画像編集機能のカスタマイズ] が追加 ([🔗 28](#))
- 再生メニュー [グループ再生の設定] に [自動連続再生の設定] が追加 ([🔗 29](#))
- 再生メニューに [縦横位置情報の記録] が追加 ([🔗 30](#))

## 操作関連

- 静止画モードと動画モードで個別に撮影モードを設定可能 ([📖 31](#))
- カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加 ([📖 32](#))
- カスタムメニュー a14 として [MF 時の絞り開放 Lv] が追加 ([📖 33](#))
- カスタムメニュー d19 と g17 として [半押し拡大解除 (MF)] が追加 ([📖 34](#))
- カスタムメニュー f1/g1 [📷 メニューのカスタマイズ] に機能追加 ([📖 35](#))
- 撮影機能の呼び出し中に露出補正とホワイトバランスの設定の変更が可能 ([📖 36](#))
- カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加 ([📖 37](#))
- カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加 ([📖 38](#))
- セットアップメニュー [カード初期化 (フォーマット)] での物理フォーマット方法の変更 ([📖 42](#))

## 表示関連

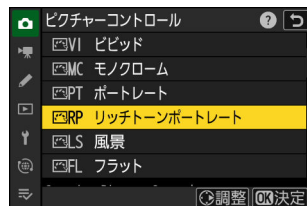
- 撮影画面の表示が最大 400%まで拡大可能 ([📖 44](#))
- メモリーカード高温注意の表示位置の変更 ([📖 45](#))

## ネットワーク関連

- スマートフォンとの無線接続方法として [Wi-Fi 接続 (ステーションモード)] が追加 ([📖 46](#))
- FTP 接続設定で FTP のポート番号の指定が可能 ([📖 55](#))
- ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] に [送信時の HEIF 変換] が追加 ([📖 56](#))
- リモートグリップ MC-N10 と AirGlu アクセサリーの併用が可能 ([📖 57](#))

# ピクチャーコントロールに「リッチトーンポートレート」が追加

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの「ピクチャーコントロール」に「RP」[リッチトーンポートレート]が追加されました。白飛びを抑えながら人物の肌のディテールを表現し、「ポートレート」よりもメリハリのある画像になります。撮影した画像を調整、加工する場合にも適しています。





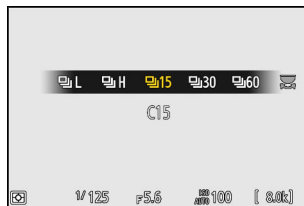
- 静止画撮影メニューと動画撮影メニューの「カスタムピクチャーコントロール」にも「リッチトーンポートレート」が追加されています。好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。
- 「リッチトーンポートレート」を選んでいる場合の調整項目は次の通りです。
  - 「クイックシャープ」
    - 「輪郭強調」
    - 「ミドルレンジシャープ」
    - 「明瞭度」
  - 「コントラスト」
  - 「明るさ」
  - 「色の濃さ（彩度）」
  - 「色合い（色相）」



# 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影に C15 が追加

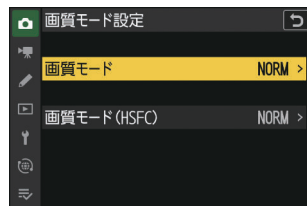
「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影に 15 コマ/秒で連続撮影を行える [C15] が追加されました。

- レリーズモードダイヤルを  に合わせ、 ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して [C15] を選ぶと連続撮影を行います。
- 撮影する画像の設定は次のようになります。
  - シャッタースピード：1/32000～1/60 秒
  - [撮像範囲]：[FX (36×24)] または [DX (24×16)]
  - [画像サイズ]：[サイズ L] 固定
- プリキャプチャー機能も使用できます。



# 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質を設定する機能が追加

静止画撮影メニュー [画質モード] のメニュー名が [画質モード設定] に変更され、「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質をその他のレリーズモード時の画質と別に設定できるようになりました。



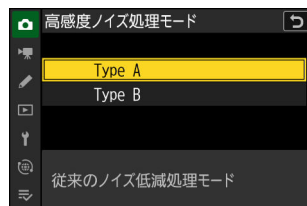
項目	内容
[画質モード]	レリーズモードを [1コマ撮影]、[低速連続撮影]、[高速連続撮影]、[セルフタイマー撮影] に設定した場合の画質を設定できます。ファームウェアバージョン C:4.xx 以前の [画質モード] の機能です。
[画質モード (HSFC)]	レリーズモードを [C15] ~ [C120] に設定した場合の画質を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>画質は [FINE] または [NORMAL] から選べます。</li></ul>

次の場合、現在設定されているレリーズモードが [C15] ~ [C120] の場合は [画質モード (HSFC)]、それ以外のレリーズモードの場合は [画質モード] の設定を変更します。

- QUAL ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回した場合
- カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で [画質モード/画像サイズ] を割り当てたボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回した場合
- 撮影時の **i** メニュー [画質モード] で設定を変更する場合

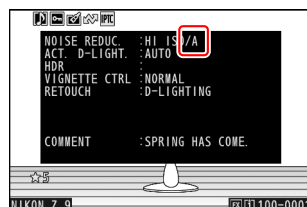
# 静止画撮影メニューにノイズ低減処理の種類を選ぶ [高感度ノイズ処理モード] が追加

静止画撮影メニューに [高感度ノイズ処理モード] が追加されました。[高感度ノイズ低減] を行う場合の処理方法を選べます。



項目	内容
[Type A]	従来のノイズ低減処理を行います。
[Type B]	ノイズの見え方を変更したノイズ低減処理を行います。

- 撮影した画像に適用した処理方法は、再生画面の撮影情報にある [撮影情報その他] ページに表示されます。
- 撮影情報の [撮影情報その他] ページを表示するには、再生メニュー [再生画面設定] で [撮影情報] および [撮影情報その他] のチェックボックスをオン  にしてください。

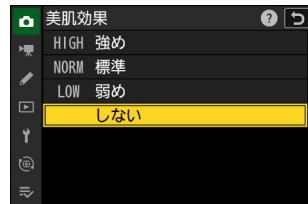


## ヒント : RAW 現像について

再生時の *i* メニュー [画像編集] > [RAW 現像 (表示画像)] または [RAW 現像 (複数画像)] の現像項目にも [高感度ノイズ処理モード] が追加されています。

# 静止画撮影メニューと動画撮影メニューに 【美肌効果】が追加

静止画撮影メニューと動画撮影メニューに【美肌効果】が追加されました。カメラが人物の顔を検出した場合、肌がなめらかになるように自動で補正します。



項目	内容
【静止画の設定と同じ】 (動画撮影メニューのみ)	静止画モード時と同じ設定になります。
【強め】	効果が強い順に、【強め】、【標準】、【弱め】になります。
【標準】	• 美肌効果は最大3人まで適用されます。 • カメラが複数の人物を検出した場合は被写体にグレーの枠が表示されます。【AFエリアモード】の設定が【オートエリアAF】の場合、カメラが選んでいるフォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターのⓈⓉを押して美肌効果を適用したい人物を選ぶことができます。
【弱め】	
【しない】	美肌効果を設定しません。

## ✓ 静止画撮影時の美肌効果の制限について

次の場合など、美肌効果とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影
- 多重露出撮影
- HDR合成

## ✓ 動画撮影時の美肌効果の制限について

次の場合、美肌効果は機能しません。

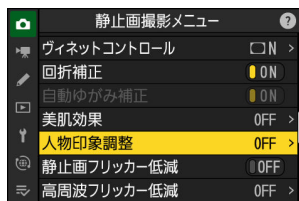
- 動画撮影メニュー【動画記録ファイル形式】を【N-RAW 12-bit (NEV)】または【ProRes RAW HQ 12-bit (MOV)】に設定している場合
- 動画撮影メニュー【動画記録ファイル形式】を【ProRes 422 HQ 10-bit (MOV)】または【H.265 10-bit (MOV)】に設定して、階調モードで【N-Log】を選んでいる場合

# 静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [人物印象調整] が追加

静止画撮影メニューと動画撮影メニューに[人物印象調整]が追加されました。人物の色相と明るさを2軸で調整して[モード1]、[モード2]、[モード3]として個別に登録し、撮影時に選んで適用できます。

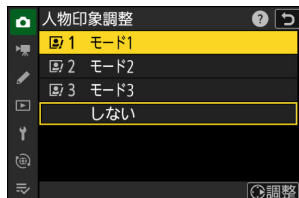
## 調整モードの登録方法

### 1 静止画撮影メニューで[人物印象調整]を選ぶ



### 2 調整モードの登録先を[モード1]～[モード3]から選んでマルチセレクターの[決定]を押す

選んだ調整モードの調整画面が表示されます。



### 3 色相と明るさを調整する

- で M (マゼンタ) および Y (イエロー) 方向の色相を調整します。M (マゼンタ) 方向に調整するとマゼンタが強くなり、Y (イエロー) 方向に調整するとイエローが強くなります。
- で明るさを調整します。+方向に調整すると明るくなり、-方向に調整すると暗くなります。
- 調整値は、座標の右側に表示されます。
- (リセット) ボタンを押すと初期設定に戻ります。



## 4 調整値を決定する

- ⊕ ボタンを押して調整値を決定すると、メニューに戻ります。
- 調整した調整モードには、アスタリスク（\*）が表示されます。
- 別の調整モードを登録する場合は、手順 1～4 を繰り返してください。


## 登録した調整モードの適用方法

静止画撮影メニュー [人物印象調整] で [モード 1] ～ [モード 3] を選ぶと、選んだ調整モードに登録されている調整値が撮影時に適用されます。

### 人物印象調整の制限について

[ピクチャーコントロール] が [モノクローム] または [Creative Picture Control] の場合、[人物印象調整] が無効になります。

### ヒント：被写体を確認しながら調整するには

カスタムメニュー f1 [  **メニューのカスタマイズ** ] で [人物印象調整] を割り当てて *i* メニューで実行すると、メインコマンドダイヤルで調整モードを選んでから、被写体を見ながらマルチセレクターで色相と明るさを調整できます。

### ヒント：RAW 現像について

再生時の *i* メニュー [画像編集] > [RAW 現像 (表示画像)] または [RAW 現像 (複数画像)] の現像項目にも [人物印象調整] が追加されています。

# 高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加

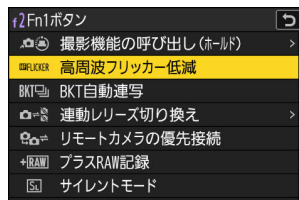
静止画モードの高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加され、光源の周波数を設定できるようになりました。フリッカー現象が低減される周波数を、光源に合わせて選べます。

- 周波数を設定すると、撮影時に選べるシャッタースピードの値が設定した周波数の周期の整数倍に固定されます。フリッカー低減の効果を維持したまま、シャッタースピードの変更が可能です。
- LED照明や高周波LEDディスプレイは製品によって周波数が異なるため、製品に合わせた周波数を複数登録しておけば、状況に応じて切り換えて撮影を行えます。
- 周波数は [PRE1] (7680Hz) ~ [PRE4] (1920Hz) の4通りが用意されています。周波数の調整も可能です。
- 周波数を設定した場合、シャッタースピードは 1/ (周波数) 秒よりも低速にしてください。

## 周波数の切り換え方法

周波数はあらかじめ4通り登録されています。カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で任意のボタンに [高周波フリッカー低減] を割り当てると、撮影画面を見ながら周波数を切り換えられます。

- 1 カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で任意のボタンに [高周波フリッカー低減] を割り当てる



- 2 [高周波フリッカー低減] を割り当てたカスタムボタンを長押しする

周波数設定モードになります。



### 3 周波数を切り換える

- サブコマンドダイヤルを回すと [PRE1]、[PRE2]、[PRE3]、[PRE4]、[OFF] を切り換えられます。
- [PRE1] ～ [PRE4] には次の周波数があらかじめ設定されています。光源の照明や高周波 LED ディスプレイに合わせて、フリッカー現象が低減される周波数を選んでください。
  - [PRE1] : 7680Hz
  - [PRE2] : 3840Hz
  - [PRE3] : 2880Hz
  - [PRE4] : 1920Hz
- [PRE1] ～ [PRE4] のどれを選んでもフリッカー現象が低減されない場合は、周波数を調整してください (□ 17)。
- [OFF] に設定すると、ファームウェアバージョン C:4.xx と同じ動作になります。
- 周波数設定モードでシャッターボタンを押しても撮影はできません。



### 4 ※ ボタンを押して周波数設定モードを終了する

周波数設定モードを終了すると、撮影画面に戻って撮影が可能になります。

#### ✓ 高周波フリッカー低減のご注意

- 周波数を設定しても、撮影画面の表示と撮影画像ではフリッカー現象の表れ方が異なることがあります。
- 周波数を設定してフリッカー現象が低減しても、シャッタースピードを変更するとフリッカー現象が現れることがあります。
- 試し撮りをして、ちらつきや LED の縞が最も低減される周波数またはシャッタースピードに設定することをおすすめします。



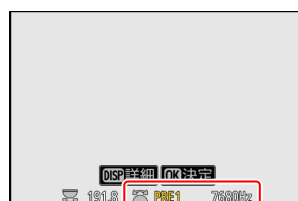
# 周波数の値を調整する

[PRE1] ~ [PRE4] の周波数の値は調整可能です。

- 1 [高周波フリッカー低減] を割り当てたカスタムボタンを長押しして周波数設定モードにする



- 2 [PRE1] ~ [PRE4] の中から周波数を調整したい項目に切り換える



- 3 DISP ボタンを押す



- 4 周波数を入力する

- ◂◃ を押して桁を選び、◂◃ を押して数値を決定します。
- 周波数の値は 30~9999Hz の間で調整可能です。



## 5 DISP ボタンまたは Ⓞ ボタンを押す

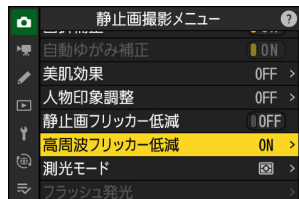
- DISP ボタンを押すと、周波数を決定して周波数設定モードに戻ります。
- Ⓞ ボタンを押すと、周波数を決定して周波数設定モードを終了して撮影画面に戻ります。



## 静止画撮影メニューで設定する

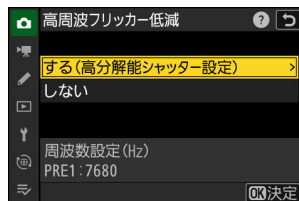
周波数は静止画撮影メニュー [高周波フリッカー低減] でも設定できます。

### 1 静止画撮影メニュー [高周波フリッカー低減] 選んでマルチセレクターの Ⓞ を押す



### 2 [する (高分解能シャッター設定)] を選んでマルチセレクターの Ⓞ を押す

現在選ばれている周波数の設定が表示されています。



### 3 [PRE1] ~ [PRE4] または [設定しない] から周波数を選ぶ Ⓞ ボタンを押すと、周波数を決定してメニューに戻ります。





# オートキャプチャー撮影機能の変更と追加

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの [オートキャプチャー] に、機能の変更および追加があります。

## カメラでのマニュアルフォーカス設定に対応

マニュアルフォーカスで撮影する場合、ファームウェアバージョン C:4.xx ではレンズのフォーカスモード切り換えスイッチを [M] に設定する必要がありましたが、C:5.00 からはカメラでフォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定するだけで撮影できるようになりました。

- マニュアルフォーカス時に [キャプチャー条件] で [距離] をオフにしている場合、被写体を判別するエリアの有効/無効を [有効エリアの設定] で切り換えられるようになりました。

### ✓ [キャプチャー条件] で [距離] をオンに設定している場合のご注意

- マニュアルフォーカス時の **AF-ON** ボタンおよびシャッターボタンでの距離設定は、ボタンを押した時点でのピント位置に設定されます。ボタンを押す前にフォーカスリングまたはコントロールリングを回してピント位置を調整してください。
- ピントが大きく外れて被写体がボケている状態では、被写体までの距離を認識する精度が下がることがあります。

## 撮像範囲 DX に対応

ファームウェアバージョン C:4.xx ではオートキャプチャー撮影時の撮像範囲は FX に固定されましたが、C:5.00 からは撮像範囲 DX にも対応しました。

- 静止画モードの場合、撮像範囲を [1:1 (24×24)] または [16:9 (36×20)] に設定しているときはオートキャプチャー撮影は使用できません。

## レリーズモード [C15] および [C60] に対応

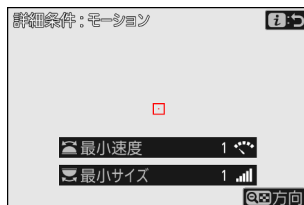
- ファームウェアバージョン C:5.00 で追加された [C15] も使用できます。
- ファームウェアバージョン C:4.xx では [C60] を選ぶと [C120] に変更されましたが、C:5.00 からは [C60] にも対応しました。

# 設定画面の表示と項目名の変更

一部の設定画面の表示と項目名が変更されました。

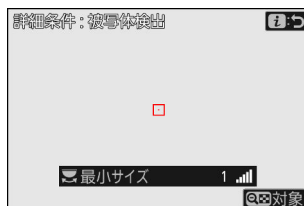
## モーション設定画面

- [Speed] が [最小速度] に変更されました。
- [Subject Size] が [最小サイズ] に変更されました。



## 被写体検出設定画面

[Subject Size] が [最小サイズ] に変更されました。



## 距離設定画面

- [Near] が [最小距離] に変更されました。
- [Far] が [最大距離] に変更されました。



## [詳細条件：距離] で設定できる範囲が拡大

ファームウェアバージョン C:4.xx では、カメラが被写体を認識する範囲として設定できる値は焦点距離によって異なりました。C:5.00 からは焦点距離にかかわらず、0.1~999m の範囲を設定できるようになりました。

- メインコマンドダイヤルを回すと **[最小距離]** の値を、サブコマンドダイヤルを回すと **[最大距離]** の値を調整できます。
- **[最小距離]** と **[最大距離]** は、数字が白で表示される値の範囲内に設定することをおすすめします。黄色で表示されている値に設定すると、被写体までの距離を認識する精度が下がることがあります。



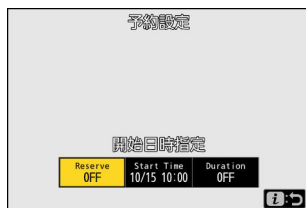
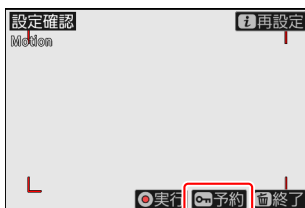
## 被写体検出対象に飛行機が追加

[詳細条件：被写体検出] で被写体検出を行う場合の対象として、飛行機が追加されました。



## [開始日時指定] の追加

設定確認画面で **On (Fn4)** ボタンを押すと、オートキャプチャー撮影を開始する日時を設定できるようになりました。設定した日時に、設定した時間分だけオートキャプチャー撮影を実行します。

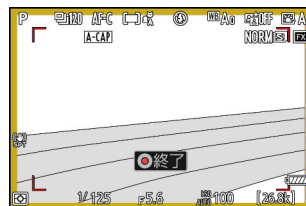


項目	内容
[開始日時指定]	[する] を選ぶと、設定した日時に、設定した時間の長さで撮影を行います。
[開始日時]	撮影を開始する日、時間、分を指定できます。
[実行時間]	オートキャプチャー撮影する時間の長さを [指定しない]、[1 時間]、[2 時間]、[3 時間] から設定できます。[指定しない] を選ぶと、手でオートキャプチャー撮影を終了するまでオートキャプチャー撮影を行います。

## オートキャプチャー撮影実行時に黄色の枠が表示

オートキャプチャー撮影を開始し、設定した条件を満たす被写体をカメラが認識していない間は、撮影画面の周囲に黄色の枠が表示されます。オートキャプチャー撮影の撮影待機中であることが判別しやすくなります。

- カメラが被写体を認識して撮影を行っている間は、撮影画面の周囲に赤い枠が表示されます。



## Profoto A10 を AF 補助光として使用可能

Profoto 社の Profoto A10 (オンカメラ・フラッシュライト) をカメラに装着している場合、Profoto A10 の LED 定常光を AF 補助光として使用できるようになりました。AF 補助光を照射する設定にした Profoto A10 を装着した場合、カメラのカスタムメニュー a12 [内蔵 AF 補助光の照射設定] の設定にかかわらず、Profoto A10 が照射されます。

- Profoto A10 が AF 補助光を照射する設定にしていない場合は、a12 の設定に従ってカメラの AF 補助光が動作します。
- Profoto A10 を AF 補助光として使用する場合、Profoto A10 のファームウェアを最新版にする必要があります。Profoto A10 のファームアップ方法および使用方法は Profoto A10 の説明書をご覧ください。

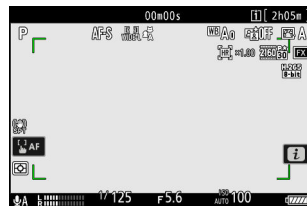


# ハイレゾズーム機能の変更



動画のハイレゾズーム機能に変更があります。

## 合焦表示の色が変更

動画撮影メニュー [ハイレゾズーム] を [ON] に設定している場合、ピントが合ったときに撮影画面に表示される AF エリアフレームの色が変更されました。ファームウェアバージョン C:4.xx 以前は AF エリアフレームが赤色で表示されましたが、C:5.00 からは緑色で表示されます。



## サブセレクターでの操作が可能

ハイレゾズームのズーミング操作がマルチセレクターの   だけでなく、サブセレクターを左右に倒すことでもできるようになりました。

# 外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める機能が追加

Atomos 社の外部レコーダーを接続してカメラのメモリーカードと外部レコーダーの両方に動画を記録する場合に、外部レコーダーに記録するファイル名の一部にカメラのメモリーカードに記録する動画のファイル名が入るようになりました。両方の動画ファイルに共通の文字列が入ることで、動画編集時にファイルの紐づけがしやすくなります。

- カメラにメモリーカードが挿入され、動画撮影メニュー **[外部記録制御 (HDMI)]** が **[ON]** に設定されている状態で動画記録を開始すると、カードに記録される動画のファイル名が外部レコーダーに送信されます。
- 拡張子は外部レコーダーに送信されません。
- ファイル名の送信に対応している Atomos 社の外部レコーダーは次の通りです (2024 年 3 月現在)。
  - Ninja (2023 年発売モデル)
  - Ninja Ultra
  - Ninja V
  - Ninja V+
  - Shogun (2023 年発売モデル)
  - Shogun Ultra
  - Shogun Connect

※ 製品によっては販売が終了している場合があります。対応製品の詳細は Atomos 社にお問い合わせください。

※ 製品によっては ATOMOS OS のアップグレードや、レコーダーの有償アクティベーションが必要となる場合があります。詳細は Atomos 社にお問い合わせください。

※ 外部レコーダーの設定方法や記録されるファイル名の詳細については、外部レコーダーの説明書などでご確認ください。

# 動画再生時の *i* メニュー項目に [再生の速度] が追加

動画再生の *i* メニュー項目に [再生の速度] が追加されました。動画の再生速度を [等倍再生]、[1/2 再生]、[1/4 再生] から選べます。[1/2 再生] または [1/4 再生] を選ぶと、1/2 倍または 1/4 倍の速度でスロー再生されます。また、動画一時停止時の *i* メニューにも [再生の速度] が追加され、動画再生の途中からでも再生速度を変更できます。

---

## ヒント：メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤルで再生速度を変更する



カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] にも [再生の速度] が追加されています。メインコマンドダイヤルおよびサブコマンドダイヤルに割り当てると動画再生時にコマンドダイヤルを回して再生速度を変更できます ([📖 41](#))。

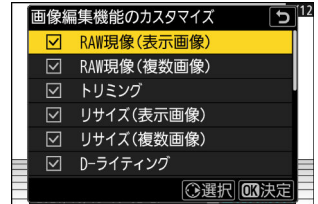
## ヒント：再生速度の変更について

- *i* メニューで再生速度を変更した場合、変更した再生速度は全ての動画再生時に適用されます。
  - カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] のコマンドダイヤルに [再生の速度] を割り当てて再生速度を変更した場合、変更した再生速度は現在再生している動画にのみ適用されます。
-

# 再生時の *i* メニュー [画像編集] に [画像編集機能のカスタマイズ] が追加

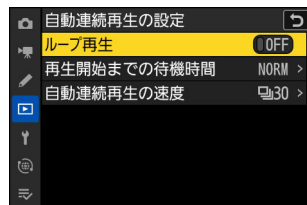
再生時の *i* メニュー [画像編集] に [画像編集機能のカスタマイズ] が追加されました。[画像編集] に表示する画像編集項目を設定できます。

- 項目を選んでマルチセクターの  を押すと、オン  とオフ  を切り換えられます。チェックボックスをオン  にした項目のみ、[画像編集] に表示されます。
-  ボタンを押すと、設定を完了します。



# 再生メニュー [グループ再生の設定] に [自動連続再生の設定] が追加

再生メニュー [グループ再生の設定] に [自動連続再生の設定] が追加されました。[自動連続再生] を [ON] に設定しているときの、連続撮影グループの再生方法を設定できます。



項目	内容
[ループ再生]	[ON] に設定すると、表示している連続撮影グループを繰り返し再生します。
[再生開始までの待機時間]	連続撮影グループ先頭の画像を表示してから、自動連続再生を開始するまでの時間を [通常]、[長い]、[短い]、[すぐに再生] から選べます。
[自動連続再生の速度]	自動連続再生の再生速度を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [5 コマ/秒]、[15 コマ/秒]、[30 コマ/秒] : 設定した速度で再生します。</li><li>• [現在のレリーズモードに連動する] : 現在設定しているレリーズモードによって再生速度が変更されます。<ul style="list-style-type: none"><li>- 1コマ撮影、セルフタイマー撮影 : 約 3 コマ/秒</li><li>- 低速連続撮影 : 約 5 コマ/秒</li><li>- 高速連続撮影、[C15] : 約 10 コマ/秒</li><li>- [C30]、[C60]、[C120] : 約 30 コマ/秒</li></ul></li></ul>

# 再生メニューに【縦横位置情報の記録】が追加

再生メニューに【縦横位置情報の記録】が追加されました。

- **[ON]** に設定すると、撮影時のカメラの縦横位置情報が画像に記録されます。カメラやパソコンで再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して画像が自動的に回転表示されます。



- **[OFF]** に設定すると、画像に縦横位置情報は記録されません。そのため、再生時に画像は自動回転されず、常に横位置で表示されます。



## ✓ 縦横位置情報記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

## ✓ 再生メニュー【画像の自動回転】について

- **【画像の自動回転】** を **[OFF]** に設定している場合、**【縦横位置情報の記録】** の **[ON]** / **[OFF]** にかかわらず画像をカメラで再生するときは、常に横位置で表示されます。
- **【画像の自動回転】** を **[ON]** に設定していても、**【縦横位置情報の記録】** が **[OFF]** の場合、再生時に画像は自動回転されずに、常に横位置で表示されます。

# 静止画モードと動画モードで個別に撮影モードを設定可能

静止画撮影メニューおよび動画撮影メニューの「**撮影メニューの拡張**」を「ON」に設定した場合に、静止画モードと動画モードで個別に撮影モードを設定できるようになりました。

- ファームウェアのバージョンアップ直後は、撮影メニュー「A」～「D」の撮影モードがすべて **P** に設定されています。

# カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加

カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加されました。フォーカスポイントの枠線の太さを [1] ~ [3] の3段階から選べます。



# カスタムメニュー a14 として [MF 時の絞り開放 Lv] が追加

カスタムメニュー a14 として [MF 時の絞り開放 Lv] が追加されました。[する] に設定すると、フォーカスモードが MF の場合は常に開放絞りでファインダーや画像モニターの撮影画面を表示します。シャッターボタンを全押しすると、設定した絞り値に絞り込まれてから撮影します。


## ✓ [MF 時の絞り開放 Lv] を [する] に設定している場合のご注意

- MF 時は絞り値の設定にかかわらず常にレンズが開放絞りになります。太陽など強い光源にカメラを向けないようにご注意ください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- シャッターのきれるタイミングが少し遅れることがあります。
- 連続撮影速度が遅くなる場合があります。
- 次のときに撮影画面にちらつきが発生することがあります。
  - シャッターをきる前後
  - カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で [プレビュー] を割り当てたボタンを押したとき
  - オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えたとき
- オートフォーカス時にレンズのフォーカスリングを回してマニュアルフォーカスに切り換えた場合は開放絞りになりません。

## カスタムメニュー d19 と g17 として [半押し 拡大解除 (MF)] が追加

カスタムメニューの d19 と g17 として [半押し拡大解除 (MF)] が追加されました。[ON] に設定すると、フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定して拡大表示している場合に、シャッターボタンを半押しして拡大表示を解除できます。

# カスタムメニュー f1/g1 [ メニューのカスタマイズ ] に機能追加

カスタムメニュー f1 および g1 [  メニューのカスタマイズ ] で *i* メニューに割り当てられる機能として以下のメニューが追加されました。

- [美肌効果]
- [人物印象調整]
- [オートキャプチャー]











# 撮影機能の呼び出し中に露出補正とホワイトバランスの設定の変更が可能


カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で [撮影機能の呼び出し (ホールド)] を割り当てたボタンを 1 回押して撮影機能の設定を呼び出している間に、露出補正とホワイトバランスの設定を変更できるようになりました。

- 露出補正を行うには、**☑** ボタンまたは露出補正を割り当てたカスタムボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。[撮影機能の呼び出し (ホールド)] の設定登録画面で [露出補正] をオン  にしている場合、再度呼び出しを行った場合も変更した値が保持されています。
- ホワイトバランスの設定を変更するには、**WB** ボタンまたはホワイトバランスを割り当てたカスタムボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。[撮影機能の呼び出し (ホールド)] の設定登録画面で [ホワイトバランス] をオン  にしている場合、再度呼び出しを行った場合も変更した値が保持されています。

# カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] および g2 [カスタムボタンの機能] に割り当てられる機能が追加されました。

項目	内容
 [AF エリアモード循環選択]	ボタンを押すたびに AF エリアモードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [AF エリアモード循環選択] を選んで  を押すと、切り換え可能な AF エリアモードを選べます。</li><li>• 項目を選んで  ボタンを押すかマルチセレクターの  を押すと、オン  とオフ  を切り換えられます。チェックボックスをオン  にした項目のみ、ボタンを押したときに切り換えられます。</li></ul>
 [美肌効果]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、美肌効果の設定を変更できます。
 [人物印象調整]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、調整モードを切り換えられます。
 [モニターモードの切り換え]	ボタンを押すたびに、モニターモードが切り替わります。



- f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] には、機能を割り当てられるボタンとして  [フォーカスモードボタン] も追加されました。

# カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加

カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能を割り当てられるボタンの種類と割り当てられる機能が追加されました。

## 機能を割り当てられるボタンの追加

機能を割り当てられるボタンとして、次の項目が追加されました。

-  [露出補正ボタン]
-  [ISO 感度ボタン]

# 追加された機能

ボタンに割り当てられる機能やコマンドダイヤルに設定できる機能が追加されました。

## ボタンに割り当てられる機能

項目	内容
 [RAW 現像 (表示画像)]	ボタンを押すと、設定している画像編集の編集画面を表示します。
 [RAW 現像 (複数画像)]	
 [トリミング]	
 [リサイズ (表示画像)]	
 [リサイズ (複数画像)]	
 [D-ライティング]	
 [傾き補正]	
 [ゆがみ補正]	
 [アオリ効果]	
 [モノトーン]	
 [加算合成]	
 [比較明合成]	
 [比較暗合成]	
 [比較動合成]	

## 【メインコマンドダイヤル】 / 【サブコマンドダイヤル】 に設定できる機能

項目	内容
【画像送り時の拡大位置】	<p>再生画像の拡大表示中にメインコマンドダイヤルおよびサブコマンドダイヤルを回して画像送りをする場合に、表示範囲の位置を変更するかどうか設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>【位置を継続】</b>: 現在表示している表示範囲の位置で次の静止画を表示します。</li><li>• <b>【ピント位置優先】</b>: 再生する静止画の撮影時のフォーカスポイントを中心にして拡大表示します。</li><li>• <b>【ピント位置優先 (顔検出)】</b>: 再生する静止画の撮影時のフォーカスポイントを中心にして拡大表示します。ただし、再生する静止画に人物の顔が検出された場合、その位置を中心にして拡大表示します。</li></ul>
【拡大再生中の顔送り】	<p><b>【ON】</b> に設定すると、再生画像の拡大表示中に複数の人物の顔が検出された場合、サブコマンドダイヤルを回して画像内の人物の顔を切り換えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>【サブコマンドダイヤル】</b> のみ設定できます。</li></ul>



## 【メインコマンドダイヤル】 / 【サブコマンドダイヤル】 > 【画像送り】に追加された機能


項目	内容
【FTP 送信済み】	FTP に送信した画像だけをコマ送りして表示します。
【PC 送信済み】	PC に送信した画像だけをコマ送りして表示します。

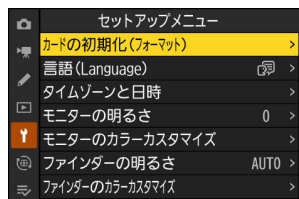
## 【メインコマンドダイヤル】 / 【サブコマンドダイヤル】 > 【動画再生】に追加された機能

項目	内容
【再生の速度】	動画の再生速度を切り換えます。速度は等倍、1/2 倍スロー、1/4 倍スローに切り換えます。

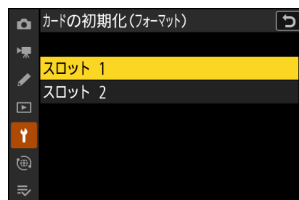
# セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)]での物理フォーマット方法の変更

物理フォーマットに対応した CFexpress カードをお使いの場合に、セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)]での物理フォーマット方法が変更になりました。

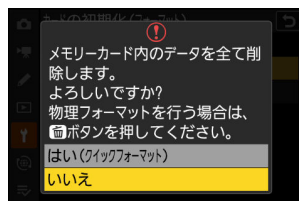
- 1 セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)]を選んでマルチセクターの  を押す



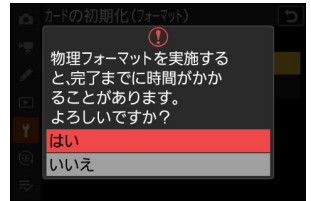
- 2 [スロット 1] または [スロット 2] を選んでマルチセクターの  を押す



- 3 選択肢が表示されたら  (FORMAT) ボタンを押す



#### 4 【はい】を選んで **OK** ボタンを押す

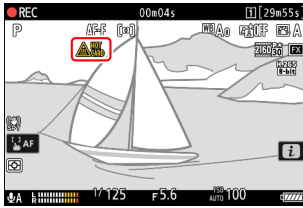


## 撮影画面の表示が最大 400%まで拡大可能

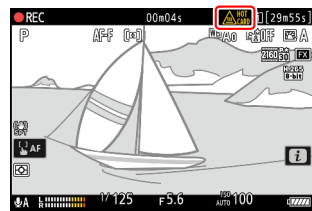
ファームウェアバージョンが C:4.xx 以前では撮影画面の拡大表示は最大 200%まででしたが、C:5.00 からは最大 400%まで拡大できるようになりました。🔍 ボタンを押すごとに拡大率が上がり、🔍 (?) ボタンを押すごとに拡大率が下がります。

# メモリーカード高温注意表示の位置が変更

動画記録中にメモリーカードが高温になった場合に表示される、メモリーカード高温注意表示の位置が変更になりました。



ファームウェア C:4.xx 以前

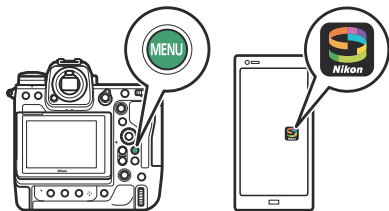


C:5.00 以降

# スマートフォンとの無線接続方法として [Wi-Fi 接続 (ステーションモード)] が追加

カメラとスマートフォンを無線 LAN で接続する方法として、無線 LAN アクセスポイントを経由する「Wi-Fi ステーションモード」が追加されました。カメラとスマートフォンを直接接続する現在の方法は、「Wi-Fi アクセスポイントモード」に名称が変更されました。

- 「Wi-Fi ステーションモード」および「Wi-Fi アクセスポイントモード」で接続するためには、対応した SnapBridge アプリが必要です。SnapBridge は最新のバージョンをお使いください。
- カメラとスマートフォンのそれぞれで操作を行います。
- SnapBridge アプリのヘルプもあわせてご覧ください。



## ヒント : NX MobileAir について

Wi-Fi ステーションモードには NX MobileAir アプリも対応しています。NX MobileAir アプリとカメラの接続方法や操作方法については、NX MobileAir アプリのヘルプをご覧ください。

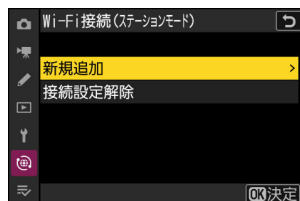
## 既存のネットワークに接続する (Wi-Fi ステーションモード)

ご自宅などにすでに構築されているネットワークの、無線 LAN アクセスポイントを経由してカメラとスマートフォンを接続します。カメラと無線接続中でも、スマートフォンはインターネットを使用できます。

### ✓ Wi-Fi ステーションモードで接続する場合

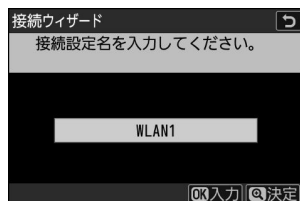
ルーターを越えて別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のスマートフォンとのみ接続できます。

- 1 カメラ：ネットワークメニュー [スマートフォンと接続] > [Wi-Fi 接続 (ステーションモード)] で [新規追加] を選び、  
Ⓜ ボタンを押す



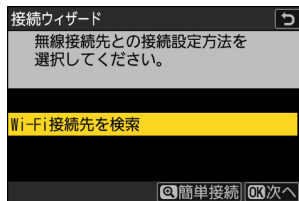
## 2 カメラ：接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま Ⓜ ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー [スマートフォンと接続] > [Wi-Fi 接続 (ステーションモード)] に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、Ⓜ ボタンを押します。



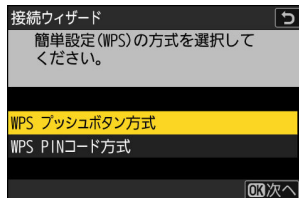
### 3 カメラ : [Wi-Fi 接続先を検索] を選び、**Ⓜ** ボタンを押す

カメラの周辺にある無線 LAN アクセスポイントを検索して、検出した接続先の SSID を表示します。



#### **✓** [簡単接続] で接続する

手順 3 で **Ⓜ** ボタンを押すと、SSID や暗号キーを入力せずに無線 LAN アクセスポイントに接続できます。接続方法を選んで **Ⓜ** ボタンを押してください。接続が完了したら、手順 6 に進んでください。

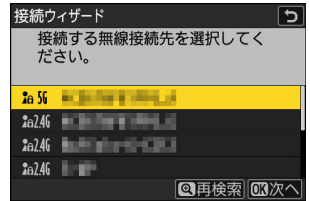


接続方法	内容
[WPS プッシュボタン方式]	無線 LAN アクセスポイントに WPS プッシュボタンがある場合に使用できます。WPS プッシュボタンを押した後にカメラの <b>Ⓜ</b> ボタンを押すと、無線 LAN アクセスポイントに接続できます。
[WPS PIN コード方式]	カメラに PIN コードが表示されます。パソコンを使用して無線 LAN アクセスポイントに PIN コードを入力します。無線 LAN アクセスポイントに PIN コードを入力する方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイントの使用説明書をご覧ください。



#### 4 カメラ：接続先の SSID を選ぶ

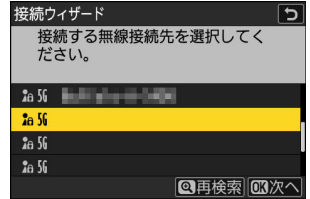
- 接続先の SSID を選んで **OK** ボタンを押します。
- 検出された SSID の周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありの SSID には **🔒** が表示されます。暗号あり **🔒** の SSID を選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順 6 へお進みください。
- **🔍** ボタンを押すと無線接続先を再検索します。



#### SSID が非公開に設定されている場合

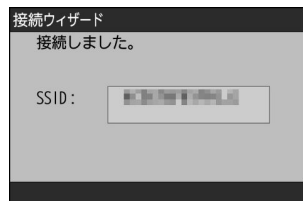
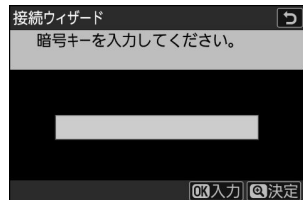
無線 LAN アクセスポイントが SSID を非公開に設定している場合、検出された SSID 一覧に SSID 名が表示されません。

- 非公開の SSID に接続したい場合、空欄になっている項目を選択して **OK** ボタンを押してください。続いて **🔍** ボタンを押すと、SSID 入力画面になります。
- 接続したい SSID 名を入力し、**🔍** ボタンを押してください。もう一度 **🔍** ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。



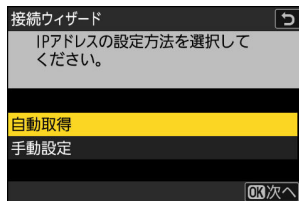
## 5 カメラ：暗号キーを入力する

- ⊕ ボタンを押して、無線 LAN アクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線 LAN アクセスポイントの暗号キーについては、無線 LAN アクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。
- ⊕ ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度 ⊕ ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。



## 6 カメラ：IPアドレスの設定方法を選んで設定する

IPアドレスの設定方法を選んで **ⓧ** ボタンを押します。

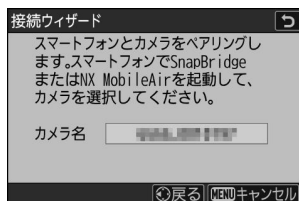


設定方法	内容
[自動取得]	カメラが自動で IP アドレスを取得します。IP アドレスを取得すると IP アドレス設定完了画面が表示されます。
[手動設定]	IP アドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>ⓧ</b> ボタンを押すと、IP アドレス入力画面が表示されます。</li><li>• メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。</li><li>• <b>ⓧ</b> を押して数値を変更し、<b>ⓧ</b> ボタンを押して決定します。</li><li>• <b>ⓧ</b> ボタンを押すと、IP アドレス設定完了画面が表示されます。再度 <b>ⓧ</b> ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。</li><li>• サブネットマスクは <b>ⓧ</b> を押して数値を変更し、<b>ⓧ</b> ボタンを押して決定すると、IP アドレス設定完了画面が表示されます。</li></ul>

## 7 カメラ：IPアドレス設定完了画面が表示されたら **ⓧ** ボタンを押す

## 8 カメラ：スマートフォンとの Wi-Fi 接続を開始する

カメラに図のような画面が表示されたら、スマートフォンで SnapBridge アプリを起動してください。




## 9 スマートフォン：SnapBridge アプリを起動し、**☑** タブの **ⓧ** ボタンをタップして [Wi-Fi ステーションモード接続] を選ぶ

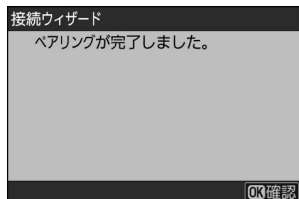
SnapBridge アプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある [カメラと接続する] をタップします。

## 10 スマートフォン：カメラ名を選ぶ

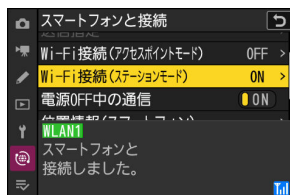
手順 8 でカメラに表示されているカメラ名を選びます。

## 11 カメラ/スマートフォン：Wi-Fi 接続を完了する

- カメラに図のような画面が表示されたら  ボタンを押してください。



- スマートフォンとカメラの Wi-Fi 接続が完了すると、スマートフォンに Wi-Fi ステーションモード画面が表示されます。
- カメラの画像モニターには接続完了のメッセージが表示されます。



カメラとスマートフォンの Wi-Fi 接続は完了しました。

接続後の操作方法などは SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。

# スマートフォンと直接接続する（Wi-Fi アクセスポイントモード）

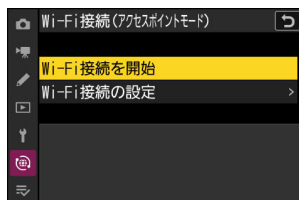
カメラとスマートフォンを直接 Wi-Fi 接続します。カメラをアクセスポイントとして使用するため、野外など無線 LAN 環境がない場合でも無線接続ができ、複雑な設定も不要です。カメラと接続中は、スマートフォンはインターネットを使用できません。

## 1 スマートフォン：SnapBridge アプリを起動し、 タブの ボタンをタップして【Wi-Fi アクセスポイントモード接続】を選ぶ

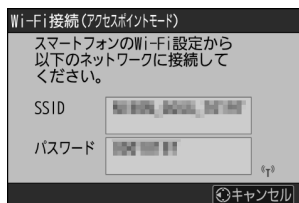
SnapBridge アプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある【カメラと接続する】をタップします。カメラのカテゴリ選択画面が表示されたら、接続するカメラのカテゴリをタップし、次に表示される接続方法の選択画面で Wi-Fi 接続をタップしてください。

## 2 カメラ/スマートフォン：カメラ操作の説明画面が表示されたら、カメラの電源を ON にする この時点ではまだアプリの操作を行わないでください。

## 3 カメラ：ネットワークメニュー【スマートフォンと接続】>【Wi-Fi 接続（アクセスポイントモード）】で【Wi-Fi 接続を開始】を選んで ボタンを押す



SSID とパスワードが表示されます。



#### 4 スマートフォン：アプリ画面の指示に従ってスマートフォンを操作し、Wi-Fi 接続する

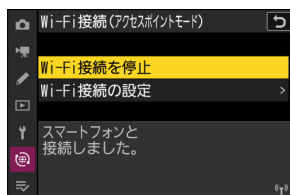
- iOS の場合、設定アプリが表示されます。[< 設定] をタップして [設定] 画面へ移動し、画面上部の [Wi-Fi] をタップして、Wi-Fi 接続の操作を行ってください。



- Wi-Fi 接続画面では、手順 3 でカメラに表示されている SSID を選び、パスワードを入力してください。

#### 5 スマートフォン：手順 4 で OS の設定を完了したら、手動で SnapBridge アプリに戻る

- スマートフォンとカメラの Wi-Fi 接続が完了すると、スマートフォンに Wi-Fi モード画面が表示されます。
- カメラの画像モニターには接続完了のメッセージが表示されます。



カメラとスマートフォンの Wi-Fi 接続は完了しました。

接続後の操作方法などは SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。

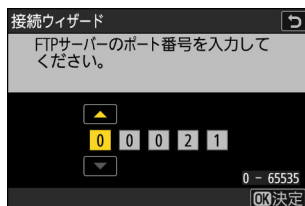
## Wi-Fi ステーションモード / Wi-Fi アクセスポイントモードの解除方法

SnapBridge アプリの [タブ] で [Wi-Fi] ボタンをタップして、Wi-Fi 接続を解除してください。表示が [Wi-Fi] に切り替わったら、[Wi-Fi] ボタンをタップして [Wi-Fi ステーションモードの解除] または [解除] をタップします。

# FTP 接続設定で FTP のポート番号の指定が可能

ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] で接続ウィザードを使用して FTP サーバーへの接続設定を行う場合に、ポート番号を指定できるようになりました。FTP サーバーのアドレス入力後、**Q** ボタンを押すとカメラが FTP サーバーに接続します。接続に成功した場合、ポート番号を入力する画面が表示されます。

- 値は 0～65535 の間で設定できます。
- 入力後、**OK** ボタンを押すとログイン方法の選択画面が表示されます。



# ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] に [送信時の HEIF 変換] が追加

ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] > [オプション] に [送信時の HEIF 変換] が追加されました。

- 設定できる項目は [高圧縮]、[中圧縮]、[低圧縮]、[しない] です。[しない] 以外に設定すると、撮影した RAW 画像または JPEG 画像を設定した圧縮率で HEIF 画像に変換して FTP サーバーに送信します。
- 変換した HEIF 画像は、メモリーカード内には保存されません。



# リモートグリップ MC-N10 と AirGlu アクセサリーの併用が可能

ファームウェアバージョン C:4.xx 以前ではリモートグリップ MC-N10 をカメラに接続すると Bluetooth の機能が全て使用できなくなりますが、C:5.00 からは Atomos 社の AirGlu アクセサリー UltraSync BLUE を Bluetooth で接続して使用できるようになりました。

# ファームウェア C:5.00 でのメニュー・初期設定一覧

ファームウェアを C:5.00 にバージョンアップした場合のメニューおよび初期設定は次の通りです。

## 静止画撮影メニュー

- [撮影メニューの管理] : A
- [撮影メニューの拡張] : OFF
- [記録フォルダー設定]
  - [フォルダーグループ名変更] : NCZ\_9
  - [フォルダー番号指定] : 100
  - [既存フォルダーから選択] : —
- [ファイル名設定] : DSC
- [スロット 2 の機能] : 順次記録
- [撮像範囲]
  - [撮像範囲設定] : FX (36×24)
  - [DX クロップ警告表示] : OFF
- [画質モード設定]
  - [画質モード] : NORMAL
  - [画質モード (HSFC)] : NORMAL
- [画像サイズ設定]
  - [画像サイズ] : サイズ L
  - [画像サイズ (DX) の適用] : OFF
  - [画像サイズ (DX)] : サイズ L
- [RAW 記録] : 高効率 ★
- [ISO 感度設定]
  - [ISO 感度] : 100
  - [感度自動制御] : ON
  - [制御上限感度] : 25600
  - [🔗 使用時の制御上限感度] : フラッシュなしの設定と同じ
  - [低速限界設定] : オート
- [ホワイトバランス] : オート : 白を優先する
- [ピクチャーコントロール] : オート
- [カスタムピクチャーコントロール] : —
- [色空間] : sRGB
- [アクティブ D-ライティング] : しない
- [長秒時ノイズ低減] : OFF
- [高感度ノイズ処理モード] : Type A

- [高感度ノイズ低減] : 標準
- [ヴェネットコントロール] : 標準
- [回折補正] : ON
- [自動ゆがみ補正] : ON
- [美肌効果] : しない
- [人物印象調整] : しない
- [静止画フリッカー低減] : OFF
- [高周波フリッカー低減] : しない
- [測光モード] : マルチパターン測光
- [フラッシュ発光]
  - [発光モード] : TTL 調光
  - [ワイヤレス設定] : しない
  - [増灯発光モード] : グループ発光
- [フォーカスモード] : シングル AF
- [AF エリアモード] : シングルポイント AF
- [AF 時の被写体検出設定] : オート
- [手ブレ補正] : スポーツ
- [オートブラケティング]
  - [オートブラケティングのセット] : AE・フラッシュブラケティング
  - [コマ数] : 0
  - [補正ステップ] : 1.0
- [多重露出]
  - [多重露出モード] : しない
  - [コマ数] : 2
  - [合成モード] : 加算平均
  - [合成前の画像を保存 (RAW)] : ON
  - [確認撮影] : ON
  - [1 コマ目の画像 (RAW) の指定] : —
- [HDR 合成]
  - [HDR モード] : しない
  - [HDR 強度] : オート
  - [合成前の画像を保存 (RAW)] : OFF
- [インターバルタイマー撮影]
  - [開始日時の設定] : 即時
  - [撮影間隔] : 1 分
  - [撮影回数×1 回のコマ数] : 0001×1
  - [露出平滑化] : ON
  - [撮影間隔優先] : OFF
  - [撮影間隔毎の AF 駆動] : OFF
  - [オプション] : しない
  - [撮影開始時の記録フォルダー]
    - [新規フォルダー作成] : □
    - [ファイル番号リセット] : □

- [タイムラプス動画]
  - [撮影間隔] : 5 秒
  - [撮影時間] : 25 分
  - [露出平滑化] : ON
  - [撮像範囲設定] : FX
  - [動画記録ファイル形式] : H.265 8-bit (MOV)
  - [画像サイズ/フレームレート] : 3840×2160 30p
  - [撮影間隔優先] : OFF
  - [撮影間隔毎の AF 駆動] : OFF
  - [動画記録先] : スロット 1
- [フォーカスシフト撮影]
  - [撮影回数] : 100
  - [フォーカスステップ幅] : 5
  - [待機時間] : 0
  - [露出固定] : ON
  - [フォーカス位置の自動リセット] : OFF
  - [撮影開始時の記録フォルダー]
    - [新規フォルダー作成] :
    - [ファイル番号リセット] :
- [オートキャプチャー]
  - [ユーザープリセットの選択] : P-1

## 動画撮影メニュー

- [撮影メニューの管理] : A
- [撮影メニューの拡張] : OFF
- [記録フォルダー設定]
  - [フォルダーグループ名変更] : NCZ\_9
  - [フォルダー番号指定] : 100
  - [既存フォルダーから選択] : —
- [ファイル名設定] : DSC
- [動画記録先] : スロット 1
- [動画記録ファイル形式] : H.265 8-bit (MOV)
- [画像サイズ/フレームレート] : 3840×2160 30p
- [動画の画質 (N-RAW)] : 高画質
- [撮像範囲]
  - [撮像範囲設定] : FX
  - [DX クロップ警告表示] : OFF
- [オーバーサンプリングの拡張] : OFF
- [ISO 感度設定]
  - [制御上限感度] : 25600
  - [M モード時の感度自動制御] : ON

- [M モード時の ISO 感度] : 100
- [ホワイトバランス] : 静止画の設定と同じ
- [ピクチャーコントロール] : 静止画の設定と同じ
- [カスタムピクチャーコントロール] : —
- [HLG 画質調整]
  - [クイックシャープ] : 0
  - [コントラスト] : 0
  - [色の濃さ (彩度)] : 0
  - [色合い (色相)] : 0
- [アクティブ D-ライティング] : しない
- [高感度ノイズ低減] : 標準
- [ヴェネットコントロール] : 標準
- [回折補正] : ON
- [自動ゆがみ補正] : ON
- [美肌効果] : 静止画の設定と同じ
- [人物印象調整] : しない
- [動画フリッカー低減] : オート
- [高周波フリッカー低減] : しない
- [測光モード] : マルチパターン測光
- [フォーカスモード] : フルタイム AF
- [AF エリアモード] : シングルポイント AF
- [AF 時の被写体検出設定]
  - [被写体検出] : オート
  - [被写体未検出時の AF 駆動] : ON
- [手ブレ補正] : 静止画の設定と同じ
- [電子手ブレ補正] : OFF
- [マイク感度] : オート
- [アッテネーター] : OFF
- [録音帯域] : 広帯域
- [風切り音低減] : OFF
- [マイク端子のプラグインパワー] : ON
- [ヘッドホン音量] : 15
- [タイムコード]
  - [タイムコード記録] : しない
  - [カウントアップ方式] : レックラン
  - [タイムコードの起点] : —
  - [ドロップフレーム] : ON
- [外部記録制御 (HDMI)] : OFF
- [ハイレゾズーム] : OFF
- [オートキャプチャー]
  - [ユーザープリセットの選択] : P-1

# カスタムメニュー












- [カスタムメニューの管理] : A
- a [フォーカス]
  - a1 [AF-C モード時の優先] : レリーズ
  - a2 [AF-S モード時の優先] : フォーカス
  - a3 [AF ロックオン]
    - [横切りへの反応] : 3
    - [被写体の動き] : スムーズ
  - a4 [AF 点数] : 全点
  - a5 [縦/横位置フォーカスポイント切換] : しない
  - a6 [半押し AF レンズ駆動] : する
  - a7 [フォーカスポイントの引き継ぎ] : オート
  - a8 [AF エリアモードの限定]
    - [ピンポイント AF] :
    - [シングルポイント AF] :  (固定)
    - [ダイナミック AF (S)] :
    - [ダイナミック AF (M)] :
    - [ダイナミック AF (L)] :
    - [ワイドエリア AF (S)] :
    - [ワイドエリア AF (L)] :
    - [ワイドエリア AF (C1)] :
    - [ワイドエリア AF (C2)] :
    - [3D-トラッキング] :
    - [オートエリア AF] :
  - a9 [フォーカスモードの制限] : 制限しない
  - a10 [フォーカスポイント循環選択] : OFF
  - a11 [フォーカスポイント表示]
    - [マニュアルフォーカス時の表示] : ON
    - [ダイナミック AF 時のアシスト表示] : ON
    - [AF-C モード時の合焦表示] : OFF
    - [3D-トラッキング時の表示色] : 白
    - [フォーカスポイントの太さ] : 1
  - a12 [内蔵 AF 補助光の照射設定] : ON
  - a13 [フォーカスピーキング]
    - [フォーカスピーキング表示] : OFF
    - [フォーカスピーキングの感度] : 2 (標準)
    - [フォーカスピーキングの表示色] : 赤
  - a14 [MF 時の絞り開放 Lv] : しない
  - a15 [フォーカスポイントの移動速度] : 標準
  - a16 [AF 設定時のフォーカスリング操作] : ON


- b [露出・測光]
  - b1 [ISO 感度設定ステップ幅] : 1/3 段
  - b2 [露出設定ステップ幅] : 設定 1/3 段 (補正 1/3 段)
  - b3 [露出補正簡易設定] : しない
  - b4 [マルチパターン測光の顔検出] : ON
  - b5 [中央部重点測光範囲] : 標準
  - b6 [基準露出レベルの調節]
    - [マルチパターン測光] : 0
    - [中央部重点測光] : 0
    - [スポット測光] : 0
    - [ハイライト重点測光] : 0
  - b7 [絞り値変化時の露出維持] : しない
- c [AE ロック・タイマー]
  - c1 [シャッターボタン AE ロック] : しない
  - c2 [セルフタイマー]
    - [時間] : 10 秒
    - [撮影コマ数] : 1
    - [連続撮影間隔] : 0.5 秒
  - c3 [パワーオフ時間]
    - [画像の再生] : 10 秒
    - [メニュー表示] : 1 分
    - [撮影直後の画像確認] : 4 秒
    - [半押しタイマー] : 30 秒
- d [撮影・記録・表示]
  - d1 [連続撮影速度]
    - [高速連続撮影] : 20 コマ/秒
    - [低速連続撮影] : 5 コマ/秒
  - d2 [連続撮影コマ数] : ∞
  - d3 [レリーズモードの限定]
    - [1 コマ撮影] :  (固定)
    - [低速連続撮影] :
    - [高速連続撮影] :
    - [C30] :
    - [C60] :
    - [C120] :
    - [セルフタイマー] :
  - d4 [プリキャプチャー記録設定]
    - [プリ記録時間] : なし
    - [レリーズ後記録時間] : 最大
  - d5 [連動レリーズモード設定] : 連動する
  - d6 [露出ディレイモード] : しない
  - d7 [M モード時のシャッタースピード延長] : OFF
  - d8 [撮像範囲設定の限定]







- [FX (36×24)] : ✓ (固定)
- [DX (24×16)] : ☑
- [1:1 (24×24)] : ☑
- [16:9 (36×20)] : ☑
- d9 [連番モード] : する
- d10 [ビューモード設定 (静止画 Lv)] : 撮影設定を優先
  - [撮影設定を優先] : フラッシュ使用時を含まない
  - [見やすさを重視] : オート
- d11 [スターライトビュー (静止画 Lv)] : OFF
- d12 [赤色画面表示]
  - [表示モードの選択] : しない
  - [赤色画面表示の明るさ] : 0
- d13 [イルミネーター点灯] : OFF
- d14 [連続撮影中の表示] : ON
- d15 [撮影タイミング表示]
  - [表示 Type の設定] : Type B
  - [TypeA 自動切り換え秒時] : 1/6 秒
- d16 [画面枠表示] : ON
- d17 [ガイドラインの種類] : 3×3
- d18 [水準器の種類] : Type A
- d19 [半押し拡大解除 (MF)] : OFF
- d20 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)]
  - [画面 1] : ✓ (固定)
  - [画面 2] : ☑
  - [画面 3] : ☑
  - [画面 4] : ☑
  - [画面 5] : ☑
- d21 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)]
  - [画面 1] : ✓ (固定)
  - [画面 2] : ☑
  - [画面 3] : ☑
  - [画面 4] : ☑
- d22 [ファインダーの高フレームレート表示] : OFF
- e [フラッシュ・BKT 撮影]
  - e1 [フラッシュ撮影同調速度] : 1/200 秒
  - e2 [フラッシュ時シャッタースピード制限] : 1/60 秒
  - e3 [フラッシュ使用時の露出補正] : 全体を補正
  - e4 [4 使用時の感度自動制御] : 被写体と背景
  - e5 [モデリング発光] : ON
  - e6 [BKT 変化要素 (M モード)] : フラッシュ・シャッタースピード
  - e7 [BKT の順序] : [0] → [-] → [+]
  - e8 [フラッシュ連続撮影時の優先] : 調光精度優先



• f [操作]

- f1 [  **メニューのカスタマイズ** ] : ピクチャーコントロール、ホワイトバランス、画質モード、画像サイズ、AF エリアモード/被写体検出、フォーカスモード、測光モード、手ブレ補正、撮影メニュー切り換え、カスタムボタンの機能 (撮影)、機内モード、メモリーカード情報表示
- f2 [ **カスタムボタンの機能 (撮影)** ]
  - [ **Fn1 ボタン** ] : 撮影メニュー切り換え
  - [ **Fn2 ボタン** ] : 撮像範囲選択
  - [ **Fn3 ボタン** ] : ライブビュー情報表示の消灯
  - [ **縦位置 Fn ボタン** ] : 露出補正
  - [ **縦位置 ISO 感度ボタン** ] : ISO 感度
  - [ **フォーカスモードボタン** ] : フォーカスモード/AF エリアモード
  - [ **プロテクト/Fn4 ボタン** ] : ピクチャーコントロール
  - [ **AF-ON ボタン** ] : AF-ON
  - [ **サブセレクター中央** ] : AE-L/AF-L
  - [ **DISP ボタン** ] : ライブビュー情報表示の切り換え
  - [ **音声ボタン** ] : 設定しない
  - [ **OK ボタン** ] : フォーカスポイント中央リセット
  - [ **WB ボタン** ] : ホワイトバランス
  - [ **QUAL ボタン** ] : 画質モード/画像サイズ
  - [ **縦位置マルチセレクター中央** ] : AE-L/AF-L
  - [ **再生ボタン** ] : 再生
  - [ **動画撮影ボタン** ] : 設定しない
  - [ **縦位置 AF-ON ボタン** ] : AF-ON ボタンと同じ
  - [ **ISO 感度ボタン** ] : ISO 感度
  - [ **露出補正ボタン** ] : 露出補正
  - [ **フラッシュモードボタン** ] : フラッシュモード/調光補正
  - [ **コマンドダイヤル** ]
    - [ **露出設定** ] : **P** :  /  P\*、**S** :  /  Tv、**A** :  Av /  --、**M** :  Av /  Tv
    - [ **フォーカスモード/AF エリアモード設定** ] :  /  AF/MF
    - [ **拡大表示中のサブコマンドダイヤル** ] : 露出設定
  - [ **レンズの Fn ボタン** ] : AE-L/AF-L
  - [ **BKT ボタン** ] : オートブラケティング
  - [ **レンズの Fn リング (左回し)** ] : フォーカス位置の呼び出し
  - [ **レンズの Fn2 ボタン** ] : AF-ON
  - [ **レンズのメモリーセットボタン** ] : フォーカス位置の登録
  - [ **レンズの Fn リング (右回し)** ] : フォーカス位置の呼び出し
  - [ **レンズのコントロールリング** ] : (装着するレンズにより異なります)
- f3 [ **カスタムボタンの機能 (再生)** ]
  - [ **Fn1 ボタン** ] : 設定しない
  - [ **Fn2 ボタン** ] : 設定しない
  - [ **Fn3 ボタン** ] : 設定しない
  - [ **縦位置 Fn ボタン** ] : 設定しない
  - [ **プロテクト/Fn4 ボタン** ] : プロテクト

- [DISP ボタン] : 情報表示の切り換え
- [音声ボタン] : 音声メモ
- [OK ボタン] : 拡大画面との切り換え
- [WB ボタン] : 送信指定 (PC)
- [QUAL ボタン] : レーティング
- [縦位置マルチセレクター] : 入れ換えしない
- [再生ボタン] : 撮影に戻る
- [メインコマンドダイヤル]
  - [画像送り] : 1 コマ
  - [動画再生] : 10 フレーム
  - [画像送り時の拡大位置] : 位置を継続
- [サブコマンドダイヤル]
  - [画像送り] : 1 コマ
  - [動画再生] : 10 秒
  - [画像送り時の拡大位置] : 位置を継続
  - [拡大再生中の顔送り] : ON
- [動画撮影ボタン] : 設定しない
- [露出補正ボタン] : 設定しない
- [ISO 感度ボタン] : 設定しない
- [BKT ボタン] : 設定しない
- [フラッシュモードボタン] : 設定しない
- [レンズの Fn2 ボタン] : 設定しない
- [レンズの Fn ボタン] : 設定しない
- f4 [操作のロック]
  - [シャッタースピードのロック] : OFF
  - [絞り値のロック] : OFF
  - [フォーカスポイントのロック] : OFF
- f5 [コマンドダイヤル回転方向の変更]
  - [露出補正の設定時] : □
  - [シャッタースピード/絞り値 設定時] : □
- f6 [ボタンのホールド設定] : OFF
- f7 [インジケーターの+/-方向] : 
- f8 [フォーカス回転方向の変更] : OFF
- f9 [フォーカスリングの角度設定] : ノンリニア
- f10 [コントロールリングの感度] : 敏感
- f11 [フォーカス/コントロールリング入れ換え] : OFF
- f12 [パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ)]
  - [Q/⊞ ボタンの使用] : OFF
  - [パワーズーム速度] : +3
- f13 [1 コマ再生時のフリック操作]
  - [上にフリック] : 設定しない
  - [下にフリック] : 設定しない
  - [1 コマ送りの操作方向] : 左 → 右

- f14 [サブセレクター中央を優先] : ON
- g [動画]
  - g1 [📷メニューのカスタマイズ] : ピクチャーコントロール、ホワイトバランス、画像サイズ/フレームレート、マイク感度、AF エリアモード/被写体検出、フォーカスモード、電子手ブレ補正、手ブレ補正、撮影メニュー切り換え、カスタムボタンの機能、機内モード、動画記録先
  - g2 [カスタムボタンの機能]
    - [Fn1 ボタン] : 撮影メニュー切り換え
    - [Fn2 ボタン] : 撮像範囲選択
    - [Fn3 ボタン] : ライブビュー情報表示の消灯
    - [縦位置 Fn ボタン] : 露出補正
    - [縦位置 ISO 感度ボタン] : ISO 感度
    - [フォーカスモードボタン] : フォーカスモード/AF エリアモード
    - [プロテクト/Fn4 ボタン] : ピクチャーコントロール
    - [AF-ON ボタン] : AF-ON
    - [サブセレクター中央] : AE-L/AF-L
    - [DISP ボタン] : ライブビュー情報表示の切り換え
    - [音声ボタン] : マイク感度
    - [OK ボタン] : フォーカスポイント中央リセット
    - [WB ボタン] : ホワイトバランス
    - [QUAL ボタン] : 設定しない
    - [縦位置マルチセレクター中央] : AE-L/AF-L
    - [再生ボタン] : 再生
    - [動画撮影ボタン] : 動画撮影
    - [縦位置 AF-ON ボタン] : AF-ON ボタンと同じ
    - [ISO 感度ボタン] : ISO 感度
    - [露出補正ボタン] : 露出補正
    - [シャッターボタン] : 設定しない
    - [コマンドダイヤル]
      - [露出設定] : A : Av/--、 M : Av/Tv
      - [フォーカスモード/AF エリアモード設定] : AF/AF/MF
      - [拡大表示中のサブコマンドダイヤル] : 露出設定
    - [フラッシュモードボタン] : 設定しない
    - [BKT ボタン] : 設定しない
    - [レンズの Fn ボタン] : AE-L/AF-L
    - [レンズの Fn2 ボタン] : AF-ON
    - [レンズの Fn リング (左回し)] : フォーカス位置の呼び出し
    - [レンズの Fn リング (右回し)] : フォーカス位置の呼び出し
    - [レンズのメモリーセットボタン] : フォーカス位置の登録
    - [レンズのコントロールリング] : (装着するレンズにより異なります)
  - g3 [操作のロック]
    - [シャッタースピードのロック] : OFF
    - [絞り値のロック] : OFF
    - [フォーカスポイントのロック] : OFF

- g4 [AF エリアモードの限定]
  - [シングルポイント AF] :  (固定)
  - [ワイドエリア AF (S)] :
  - [ワイドエリア AF (L)] :
  - [ワイドエリア AF (C1)] :
  - [ワイドエリア AF (C2)] :
  - [ターゲット追尾 AF] :
  - [オートエリア AF] :
- g5 [フォーカスモードの制限] : 制限しない
- g6 [AF 速度] : 0
  - [作動条件] : 常時有効
- g7 [AF 追従感度] : 4
- g8 [ハイレゾズーム速度] : 0
- g9 [パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ)]
  - [Q/⊞ ボタンの使用] : OFF
  - [パワーズーム速度]
    - [動画記録待機中] : +3
    - [動画記録中] : 0
- g10 [ISO 感度ステップ幅拡張 (M モード)] : しない
- g11 [シャッタースピード延長 (M モード)] : OFF
- g12 [ビューアシスト] : OFF
- g13 [ゼブラ表示]
  - [ゼブラ表示の検出モード] : しない
  - [ゼブラ表示のパターン] : パターン 1
  - [高輝度検出の範囲] : 250
  - [中間輝度検出の範囲] : 基準値 : 160、範囲 : ±10
- g14 [ゼブラ表示の検出モード制限] : 制限しない
- g15 [ガイドラインの種類] : 3×3
- g16 [輝度情報の種類] : ヒストグラム
- g17 [半押し拡大解除 (MF)] : OFF
- g18 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)]
  - [画面 1] :  (固定)
  - [画面 2] :
  - [画面 3] :
  - [画面 4] :
- g19 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)]
  - [画面 1] :  (固定)
  - [画面 2] :
  - [画面 3] :
- g20 [動画撮影中の赤枠表示] : ON

## 再生メニュー

- [削除] : —
- [再生フォルダー設定] : 全てのフォルダー
- [再生画面設定]
  - [フォーカスポイント] :
  - [グループの先頭表示] :
  - [露出情報] :
  - [ハイライト] :
  - [RGB ヒストグラム] :
  - [撮影情報] :
  - [統合表示] :
  - [画像のみ] :
  - [ファイル情報] :
  - [撮影基本情報] :
  - [フラッシュ情報] :
  - [ピクチャーコントロール/HLG 情報] :
  - [撮影情報その他] :
  - [著作権情報] :
  - [位置情報] :
  - [IPTC 情報] :
- [W スロット同時削除の設定] : する (選択肢あり)
- [分割記録時の再生スロット] : スロット 1
- [フィルター再生の条件設定]
  - [プロテクト] :
  - [画像の種類] :
  - [レーティング] :
  - [送信指定 (PC)] :
  - [送信指定 (FTP)] :
  - [音声メモ] :
  - [画像編集済み] :
- [グループ再生の設定]
  - [サブセクターで先頭画像表示] : ON
  - [自動連続再生] : OFF
  - [自動連続再生の設定]
    - [ループ再生] : OFF
    - [再生開始までの待機時間] : 通常
    - [自動連続再生の速度] : 30 コマ/秒
  - [サムネイルのグループ表示] : OFF
- [撮影直後の画像確認] : しない

- [削除後の次再生画像] : 後ろのコマ
- [連続撮影後の再生画像] : 最後の画像
- [縦横位置情報の記録] : ON
- [画像の自動回転] : ON
- [画像コピー] : —

## セッティングメニュー

- [カードの初期化 (フォーマット)] : —
- [言語 (Language)] : (国や地域により異なります)
- [タイムゾーンと日時]
  - [タイムゾーン] : (国や地域により異なります)
  - [日時の設定] : —
  - [日付の表示順] : (国や地域により異なります)
  - [夏時間の設定] : OFF
- [モニターの明るさ] : 0
- [モニターのカラーカスタマイズ] : A-B: 0、G-M: 0
- [ファインダーの明るさ] : オート
- [ファインダーのカラーカスタマイズ] : A-B: 0、G-M: 0
- [ファインダー表示サイズ] : 標準
- [モニターモードの限定]
  - [自動表示切り換え] :
  - [ファインダーのみ] :
  - [モニターのみ] :
  - [ファインダー優先 1] :
  - [ファインダー優先 2] :
- [画面情報の自動回転] : ON
- [AF 微調節の設定]
  - [AF 微調節の適用] : OFF
  - [レンズの調節と登録] : —
  - [未登録レンズの調節] : —
  - [登録済みレンズリスト] : —
  - [装着レンズの調節値を選択] : —
- [レンズ情報手動設定]
  - [レンズ No.] : 1
  - [焦点距離 (mm)] : --
  - [開放絞り値] : --
  - [レンズ名] : --
- [距離表示単位の設定] : メートル (m)
- [フォーカス位置の記憶] : OFF
- [ズーム位置の記憶 (PZ レンズ)] : OFF
- [自動電源 OFF 温度] : 標準

- [電源 OFF 時のセンサーシールド]: 閉じない
- [イメージセンサークリーニング]
  - [電源スイッチに連動]: 電源 OFF で実行
- [イメージダストオフデータ取得]: —
- [ピクセルマッピング]: —
- [画像コメント]
  - [コメント添付]: OFF
- [著作権情報]
  - [著作権情報添付]: OFF
- [IPTC]
  - [編集と登録]: —
  - [削除]: —
  - [撮影時自動付加]: しない
  - [メモリーカードを使用]: —
- [音声メモの設定]
  - [録音の操作]: 押し続けている間録音
  - [音声の出力 (再生)]: スピーカー/ヘッドホン
- [電子音]
  - [電子シャッター音]: ON
  - [音量]: 3
  - [音の選択]: Type A
  - [ビーブ音]: 無効
  - [音量]: 2
  - [音の高さ]: 低音
- [サイレントモード]: OFF
- [タッチ操作]
  - [タッチ操作の設定]: 有効
  - [グローブモード]: OFF
- [HDMI]
  - [出力解像度]: オート
  - [出力レンジ]: オート
  - [出力映像への情報表示]: ON
  - [出力中のカメラ側表示]: ON
- [USB 接続時の優先]: 画像転送優先
- [位置情報 (内蔵)]
  - [位置情報記録]: OFF
  - [半押しタイマー]: ON
  - [衛星による日時合わせ]: OFF
  - [ログ取得]: —
  - [ログリスト]: —
  - [情報表示]: —
- [リモコン (WR) 設定]
  - [LED ランプの点灯]: ON

- [リンクモード] : ペアリング
- [リモコン (WR) の Fn ボタンの機能] : 設定しない
- [認証情報] : —
- [電池チェック] : —
- [USB 給電] : ON
- [パワーセーブ (静止画モード)] : OFF
- [カードなし時リリース] : リリース許可
- [メニュー設定の保存と読み込み] : —
- [カメラの初期化] : —
- [ファームウェアバージョン] : —

## ネットワークメニュー

- [機内モード] : OFF
- [有線 LAN] : OFF
- [スマートフォンと接続]
  - [ペアリング (Bluetooth)]
    - [Bluetooth 通信機能] : OFF
  - [送信指定]
    - [撮影後自動送信指定] : ON
  - [Wi-Fi 接続 (アクセスポイントモード)] : —
  - [Wi-Fi 接続 (ステーションモード)] : —
  - [電源 OFF 中の通信] : ON
  - [位置情報 (スマートフォン)] : —
- [PC と接続]
  - [接続設定] : —
  - [動作モードの選択] : PC 画像送信モード
  - [オプション]
    - [撮影後自動送信] : OFF
    - [送信後ファイル削除] : OFF
    - [RAW+JPEG 送信設定] : RAW+JPEG
    - [JPEG+JPEG 送信設定] : スロット 1
    - [RAW 動画送信設定] : RAW 動画+MP4
    - [フォルダー送信] : —
    - [全送信マーク解除] : —
- [FTP サーバーと接続]
  - [接続設定] : —
  - [オプション]
    - [撮影後自動送信] : OFF
    - [送信後ファイル削除] : OFF
    - [RAW+JPEG 送信設定] : RAW+JPEG
    - [JPEG+JPEG 送信設定] : スロット 1



- [RAW 動画送信設定] : RAW 動画+MP4
- [同名ファイルの上書き] : OFF
- [未送信画像プロテクト] : OFF
- [送信記録の保存] : OFF
- [送信時の HEIF 変換] : しない
- [フォルダー送信] : —
- [全送信マーク解除] : —
- [接続維持の優先] : OFF
- [ルート証明書の管理] : —
- [カメラと接続]
  - [連動リリース] : ON
  - [接続設定] : —
  - [マスター/リモート選択] : マスターカメラ
  - [グループ設定] : —
  - [グループ名] : —
  - [日時を同期] : —
  - [著作権情報の上書き] : —
- [ATOMOS AirGlu BT 設定]
  - [ATOMOS AirGlu BT と接続] : OFF
  - [ATOMOS AirGlu BT の登録] : —
  - [ATOMOS AirGlu BT の解除] : —
  - [カメラ名] : NCZ9
- [USB] : MTP/PTP
- [LAN からの起動] : OFF
- [接続先の周波数帯選択] : (国や地域により異なります)
- [MAC アドレス] : —

## マイメニュー/最近設定した項目

- [マイメニュー登録] : —
- [登録項目の削除] : —
- [登録項目の順序変更] : —
- [このタブの機能変更] : マイメニュー

# ファームウェア C:5.00 での主な仕様

ファームウェアを C:5.00 にバージョンアップした場合の主な仕様は次の通りです。

<b>型式</b>	
<b>型式</b>	レンズ交換式デジタルカメラ
<b>レンズマウント</b>	ニコン Z マウント
<b>使用レンズ</b>	
<b>使用レンズ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Z マウント用 NIKKOR レンズ</li><li>• F マウント用 NIKKOR レンズ (マウントアダプターが必要、一部機能制限あり)</li></ul>
<b>有効画素数</b>	
<b>有効画素数</b>	4571 万画素
<b>撮像素子</b>	
<b>方式</b>	35.9×23.9 mm サイズ CMOS センサー (ニコン FX フォーマット)
<b>総画素数</b>	5237 万画素
<b>ダスト低減機能</b>	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得 (NX Studio が必要)

記録形式	
記録画素数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>撮像範囲 [FX (36×24)] の場合 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 8256×5504 ピクセル (サイズ L : 45.4 M)</li> <li>- 6192×4128 ピクセル (サイズ M : 25.6 M)</li> <li>- 4128×2752 ピクセル (サイズ S : 11.4 M)</li> </ul> </li> <li>• <b>撮像範囲 [DX (24×16)] の場合 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 5392×3592 ピクセル (サイズ L : 19.4 M)</li> <li>- 4032×2688 ピクセル (サイズ M : 10.8 M)</li> <li>- 2688×1792 ピクセル (サイズ S : 4.8 M)</li> </ul> </li> <li>• <b>撮像範囲 [1:1 (24×24)] の場合 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 5504×5504 ピクセル (サイズ L : 30.3 M)</li> <li>- 4128×4128 ピクセル (サイズ M : 17.0 M)</li> <li>- 2752×2752 ピクセル (サイズ S : 7.6 M)</li> </ul> </li> <li>• <b>撮像範囲 [16:9 (36×20)] の場合 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 8256×4640 ピクセル (サイズ L : 38.3 M)</li> <li>- 6192×3480 ピクセル (サイズ M : 21.5 M)</li> <li>- 4128×2320 ピクセル (サイズ S : 9.6 M)</li> </ul> </li> </ul>
ファイル形式 (画質モード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>NEF (RAW) :</b> RAW 14 ビット (ロスレス圧縮、高効率★、高効率)</li> <li>• <b>JPEG :</b> JPEG-Baseline 準拠、圧縮率(約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16) サイズ優先または画質優先選択可能</li> <li>• <b>NEF (RAW) +JPEG :</b> RAW と JPEG の同時記録可能</li> </ul>
ピクチャーコントロールシステム	<p>オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、リッチトーンポートレート、風景、フラット、Creative Picture Control (ドリーム、モーニング、ポップ、サンデー、ソニー、ドラマ、サイレンス、ブリーチ、メランコリック、ピュア、デニム、トイ、セピア、ブルー、レッド、ピンク、チョコレート、グラファイト、バイナリー、カーボン)、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能</p>
記録媒体	CFexpress カード (Type B)、XQD カード
ダブルスロット	メモリーカードの順次記録、バックアップ記録、RAW + JPEG 分割記録、JPEG+JPEG 分割記録ならびにカード間コピー可能
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.32

ファインダー	
ファインダー	電子ビューファインダー、1.27cm/0.5 型 Quad-VGA OLED、約 369 万ドット、明るさ調整可能（オート、マニュアル 18 段階）、カラーカスタマイズ可能、高フレームレート表示可能
視野率	上下左右とも約 100%（対実画面）
倍率	約 0.8 倍（50mm レンズ使用時、 $\infty$ 、 $-1.0 \text{ m}^{-1}$ のとき）
アイポイント	接眼レンズ最後尾から 23mm（ $-1.0 \text{ m}^{-1}$ のとき）
視度調節範囲	$-4 \sim +3 \text{ m}^{-1}$
アイセンサー	ファインダー表示と画像モニター表示の自動切り換え
画像モニター	
画像モニター	チルト式 8cm/3.2 型 TFT 液晶モニター（タッチパネル）、約 210 万ドット、視野角 170°、視野率約 100%、明るさ調整可能（マニュアル 15 段階）、カラーカスタマイズ可能、縦横チルト可能
シャッター	
型式	電子シャッター、電子シャッター音あり、センサーシールド
シャッタースピード	1/32000～30 秒（ステップ幅：1/3、1/2、1 ステップに変更可能、撮影モード <b>M</b> では 900 秒まで延長可能）、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッタースピード	1/250 秒または 1/200 秒以下の低速シャッタースピードで同調（1/200～1/250 秒はガイドナンバーが減少）。1/8000 秒までのシャッタースピードでオート FP ハイスピードシンクロ可能

レリーズ機能	
レリーズモード	1コマ撮影、低速連続撮影、高速連続撮影、ハイスピードフレームキャプチャー + (プリキャプチャー機能あり)、セルフタイマー撮影
連続撮影速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 低速連続撮影 : 約 1~10 コマ/秒</li> <li>• 高速連続撮影 : 約 10~20 コマ/秒</li> <li>• ハイスピードフレームキャプチャー + (C15) : 約 15 コマ/秒</li> <li>• ハイスピードフレームキャプチャー + (C30) : 約 30 コマ/秒</li> <li>• ハイスピードフレームキャプチャー + (C60) : 約 60 コマ/秒</li> <li>• ハイスピードフレームキャプチャー + (C120) : 約 120 コマ/秒</li> </ul> ※ ニコン試験条件での最大撮影速度
セルフタイマー	作動時間 : 2、5、10、20 秒、撮影コマ数 : 1~9 コマ、連続撮影間隔 : 0.5、1、2、3 秒

<b>露出制御</b>	
<b>測光方式</b>	撮像素子による TTL 測光方式
<b>測光モード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>マルチパターン測光</b></li> <li>• <b>中央部重点測光</b>：標準（<math>\phi</math>12mm 相当）、小さめ（<math>\phi</math>8mm 相当）、画面全体の平均に変更可能、中央部重点度約 75%</li> <li>• <b>スポット測光</b>：約<math>\phi</math>4 mm 相当を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動</li> <li>• <b>ハイライト重点測光</b></li> </ul>
<b>測光範囲</b>	<p>-3~17 EV</p> <p>※ ISO 100、f/2.0 レンズ使用時、温度 20℃</p>
<b>撮影モード</b>	<b>P</b> ：プログラムオート（プログラムシフト可能）、 <b>S</b> ：シャッター優先オート、 <b>A</b> ：絞り優先オート、 <b>M</b> ：マニュアル
<b>露出補正</b>	範囲： $\pm$ 5 段、補正ステップ：1/3、1/2 ステップに変更可能
<b>AE ロック</b>	輝度値ロック方式
<b>ISO 感度（推奨露光指数）</b>	ISO 64~25600（ステップ幅：1/3、1 ステップに変更可能）、ISO 64 に対し約 0.3、0.7、1 段（ISO 32 相当）の減感、ISO 25600 に対し約 0.3、0.7、1 段、2 段（ISO 102400 相当）の増感、感度自動制御が可能
<b>アクティブ D-ライティング</b>	オート、より強め 2、より強め 1、強め、標準、弱め、しない
<b>多重露出</b>	加算、加算平均、比較明合成、比較暗合成
<b>その他の機能</b>	HDR 合成、静止画フリッカー低減、高周波フリッカー低減

オートフォーカス	
方式	ハイブリッド AF (位相差 AF/コントラスト AF)、AF 補助光付
検出範囲	-7~19 EV (スターライトビュー有効時: -9~19 EV) ※ 静止画モード、シングル AF サーボ (AF-S)、ISO 100、f/1.2 レンズ使用時、温度 20℃
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>オートフォーカス</b>: シングル AF サーボ (AF-S) またはコンティニュアス AF サーボ (AF-C)、フルタイム AF (AF-F) (動画モードのみ)、予測駆動フォーカスあり</li> <li>• <b>マニュアルフォーカス (M)</b>: フォーカスエイド可能</li> </ul>
フォーカスポイント	493 点 ※ 静止画モード、撮像範囲 FX、シングルポイント AF 時
AF エリアモード	ピンポイント AF (静止画モードのみ)、シングルポイント AF、ダイナミック AF (S、M、L、静止画モードのみ)、ワイドエリア AF (S、L、C1、C2)、オートエリア AF、3D-トラッキング (静止画モードのみ)、ターゲット追尾 (動画モードのみ)
フォーカスロック	サブセレクターの中央押し、またはシングル AF サーボ (AF-S) 時にシャッターボタン半押し
手ブレ補正機能	
ボディ内手ブレ補正	イメージセンサーシフト方式 5 軸補正
レンズ内手ブレ補正	レンズシフト方式 (VR レンズ使用時)

<b>フラッシュ</b>	
<b>調光方式</b>	<b>TTL 調光制御</b> : i-TTL-BL 調光 (マルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光)、スタンダード i-TTL 調光 (スポット測光) 可能
<b>フラッシュモード</b>	先幕シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤目軽減スローシンクロ、発光禁止
<b>調光補正</b>	範囲 : -3~+1 段、補正ステップ : 1/3、1/2 ステップに変更可能
<b>レディーライト</b>	別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出不足警告時は点滅
<b>アクセサリシュー</b>	ホットシュー (ISO 518) : シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構 (ロック穴) 付
<b>ニコンクリエイティブライティングシステム</b>	i-TTL 調光、電波制御アドバンストワイヤレスライティング、光制御アドバンストワイヤレスライティング、モデリング発光、FV ロック、発光色温度情報伝達、オート FP ハイスピードシンクロ、ユニファイドフラッシュコントロール
<b>シンクロターミナル</b>	シンクロターミナル (ISO 519) (外れ防止ネジ付)
<b>ホワイトバランス</b>	
<b>ホワイトバランス</b>	オート (3 種)、自然光オート、晴天、曇天、晴天日陰、電球、蛍光灯 (3 種)、フラッシュ、色温度設定 (2500K~10000K)、プリセットマニュアル (6 件登録可)、全て微調整可能
<b>ブラケットिंग</b>	
<b>ブラケットिंग</b>	AE・フラッシュブラケットिंग、AE ブラケットिंग、フラッシュブラケットिंग、ホワイトバランスブラケットिंग、アクティブ D-ライティングブラケットिंग



<b>静止画のその他の機能</b>	
<b>静止画のその他の機能</b>	ヴィネットコントロール、回折補正、自動ゆがみ補正、美肌効果、人物印象調整、インターバルタイマー撮影、フォーカスシフト撮影、オートキャブチャー
<b>動画機能</b>	
<b>測光方式</b>	撮像素子による TTL 測光方式
<b>測光モード</b>	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
<b>記録画素数/フレームレート</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 7680×4320 (8K UHD) : 30p/25p/24p</li> <li>• 3840×2160 (4K UHD) : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p</li> <li>• 1920×1080 : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p</li> <li>• 1920×1080 スロー : 30p (4 倍) /25p (4 倍) /24p (5 倍)</li> </ul> ※ 120p : 119.88fps、100p : 100fps、60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps
<b>記録画素数/フレームレート (RAW 動画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 8256×4644 : 60p/50p/30p/25p/24p</li> <li>• 5392×3032 : 60p/50p/30p/25p/24p</li> <li>• 4128×2322 : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p</li> <li>• 3840×2160 : 120p/100p/60p/50p</li> </ul> ※ 120p : 119.88fps、100p : 100fps、60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps
<b>ファイル形式</b>	NEV、MOV、MP4
<b>映像圧縮方式</b>	N-RAW (12bit)、Apple ProRes RAW HQ (12bit)、Apple ProRes 422 HQ (10bit)、H.265/HEVC (8bit/10bit)、H.264/AVC (8bit)
<b>音声記録方式</b>	リニア PCM (48kHz 24bit、動画記録ファイル形式が NEV または MOV の場合)、AAC (48kHz 16bit、動画記録ファイル形式が MP4 の場合)

<b>動画機能</b>	
<b>録音装置</b>	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能、アッテネーター機能
<b>露出補正</b>	範囲：±3 段、補正ステップ：1/3、1/2 ステップに変更可能
<b>ISO 感度（推奨露光指数）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>撮影モード M</b>：ISO 64～25600（ステップ幅：1/6、1/3、1 ステップに変更可能）、ISO 25600 に対し約 0.3、0.7、1 段、2 段（ISO 102400 相当）の増感、感度自動制御（ISO 64～Hi 2.0）が可能、制御上限感度が設定可能</li> <li>• <b>撮影モード P、S、A</b>：感度自動制御（ISO 64～Hi 2.0）、制御上限感度が設定可能</li> </ul>
<b>アクティブ D-ライティング</b>	より強め、強め、標準、弱め、しない
<b>動画のその他の機能</b>	タイムラプス動画、電子手ブレ補正、タイムコード、動画 Log（N-Log）、HDR（HLG）動画、ウェーブフォーム表示、動画撮影中の赤枠表示、動画記録中の拡大表示（50%、100%、200%、400%）、シャッタースピード延長機能（撮影モード <b>M</b> 時）、RAW 動画記録時の再生用動画（プロキシー動画）同時記録、オーバーサンプリングモードあり、 <b>i</b> メニュー動画撮影情報、ハイレゾズーム、オートキヤプチャー
<b>再生機能</b>	
<b>再生機能</b>	1 コマ再生、サムネイル（約 4、9、72 分割）、拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の自動回転、レーティング、フィルター再生、音声メモ入力/再生、IPTC プリセット添付/表示、連続撮影グループ先頭への画像送り、連続撮影画像のグループ再生表示、動画再生時の一括フレーム保存、比較動合成

インターフェース	
USB	Type-C 端子 (SuperSpeed USB) (標準装備された USB ポートへの接続を推奨)
HDMI 出力	HDMI 端子 (Type A)
外部マイク入力	ステレオミニジャック (ø3.5mm)、プラグインパワーマイク対応
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック (ø3.5 mm)
10 ピンターミナル	あり (別売リモートコード MC-30A/MC-36A など使用可能)
有線 LAN	RJ-45 コネクター <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>準拠規格</b> : IEEE802.3ab (1000BASE-T) /IEEE802.3u (100BASE-TX) /IEEE802.3 (10BASE-T)</li> <li>• <b>データ転送速度 (規格値※)</b> : 1000/100/10Mbps (自動認識)</li> <li>• <b>ポート</b> : 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 兼用ポート (AUTO-MDIX)</li> </ul> ※ 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

## Wi-Fi (無線 LAN) ・ Bluetooth

Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>準拠規格</b> : IEEE802.11b/g/n/a/ac</li><li>• <b>周波数範囲 (中心周波数)</b> : 2412~2472 MHz (13ch)、5180~5700 MHz</li><li>• <b>出力 (EIRP)</b> :<ul style="list-style-type: none"><li>- 2.4 GHz : 8.4 dBm</li><li>- 5 GHz : 9.0 dBm</li></ul></li><li>• <b>認証方式</b> : オープンシステム、WPA2-PSK、WPA3-SAE</li></ul>
Bluetooth	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>通信方式</b> : Bluetooth 標準規格 Ver.5.0</li><li>• <b>周波数範囲 (中心周波数)</b> :<ul style="list-style-type: none"><li>- Bluetooth : 2402~2480 MHz</li><li>- Bluetooth Low Energy : 2402~2480 MHz</li></ul></li><li>• <b>出力 (EIRP)</b> :<ul style="list-style-type: none"><li>- Bluetooth : 2.9 dBm</li><li>- Bluetooth Low Energy : 1.4 dBm</li></ul></li></ul>
<b>通信距離 (見通し)</b>	約 10 m※ ※ 電波干渉がない場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。

位置情報機能	
対応衛星	GPS 衛星（アメリカ）、GLONASS 衛星（ロシア）、準天頂衛星みちびき（日本）
取得情報	緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）
時刻合わせ	位置情報機能で取得した日時情報でカメラの日時合わせ可能
ログ	NMEA フォーマット準拠
ログ取得間隔	15、30 秒、1、2、5 分
ログ取得時間	6、12、24 時間
ログの消去	可能
電源	
使用電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL18d ※ 1 個使用 ※ EN-EL18d の代わりに EN-EL18c/EN-EL18b/EN-EL18a/EN-EL18 も使えます。ただし、EN-EL18d を使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します。本体充電 AC アダプター EH-7P を使用した充電は EN-EL18d/EN-EL18c/EN-EL18b 使用時のみ可能。
本体充電 AC アダプター	本体充電 AC アダプター EH-7P
AC アダプター	AC アダプター EH-6d（パワーコネクター EP-6a と組み合わせて使用）（別売）
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	0.635cm（1/4 型、ISO 1222）

寸法・質量	
寸法 (W×H×D)	約 149×149.5×90.5 mm
質量	約 1340 g (バッテリーおよびメモリーカードを含む、ボディーキャップ、アクセサリシューカバーを除く)、約 1160 g (本体のみ)
動作環境	
温度	-10℃~40℃
湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- カメラに表示されるサンプル画像、および本書記載の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

# ファームウェアバージョンアップによる 変更内容（C:5.10）

## ファームウェアバージョン（C:5.10）による 機能の追加・変更について

お使いのカメラのファームウェアが C:5.10 の場合、C:5.00 の機能に加えてこの章の内容も追加されています。C:5.00 の章 ([目次 5](#)) と合わせてお読みください。

# ファームウェア（C: 5.10）による変更点一覧

カメラのファームウェアを C:5.10 にバージョンアップすると、次の機能に変更があります。詳しくは各参照先をご覧ください。

## 動画撮影関連

- 撮像範囲設定が DX の場合もハイレゾズームの使用が可能 ([📖 89](#))
- カスタムメニュー g10 として [パワー/ハイレゾズーム連携] が追加 ([📖 90](#))
- カスタムメニュー g13 として [シャッターモード] が追加 ([📖 92](#))
- カスタムメニュー g15 [ゼブラ表示] に [ゼブラ表示の色] が追加 ([📖 93](#))
- カスタムメニュー g18 [輝度情報の種類] に輝度情報の表示をカスタマイズする機能が追加 ([📖 94](#))

## 操作関連

- カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加 ([📖 95](#))
- カスタムメニュー f10 として [ズームリング操作 (PZ レンズ)] が追加 ([📖 96](#))
- カスタムメニュー f12 と g9 の [パワースームのボタン操作 (PZ レンズ)] の名称と機能に変更 ([📖 97](#))
- セットアップメニュー [メニュー設定の保存と読み込み] に対象項目が追加 ([📖 98](#))




# 撮像範囲設定が DX の場合もハイレゾズームの使用が可能

ファームウェアバージョン C:5.10 からは、動画撮影メニュー [撮像範囲] > [撮像範囲設定] の設定にかかわらずハイレゾズームが行えるようになりました。DX レンズ装着時もハイレゾズームが可能です。

- ハイレゾズームが使用できる画像サイズ/フレームレートは、撮像範囲の設定により異なります。
  - [FX] : [3840×2160 30p] ~ [3840×2160 24p]、[1920×1080 120p] ~ [1920×1080 24p] および [1920×1080 30p 4 倍スロー]、[1920×1080 25p 4 倍スロー]、[1920×1080 24p 5 倍スロー]
  - [DX] : [1920×1080 120p] ~ [1920×1080 24p] および [1920×1080 30p 4 倍スロー]、[1920×1080 25p 4 倍スロー]、[1920×1080 24p 5 倍スロー]

# カスタムメニュー g10 として [パワー/ハイ レゾズーム連携] が追加

カスタムメニュー g10 として [パワー/ハイレゾズーム連携] が追加されました。[しない] 以外に設定すると、動画撮影時にひとつの操作でパワーズームおよびハイレゾズームを行えます。

- 本機能に対応したパワーズームレンズを装着し、ハイレゾズームが使用できる状態の場合に有効になります。
- パワーズームとハイレゾズームを連携させたズーミングは、次の操作で行えます。
  - パワーズームレンズのズームリングを回す、またはズームレバーをスライドさせる
  - カメラのマルチセレクターの  を押す、またはサブセレクターを左右に倒す
  - カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で [パワーズーム (望遠側)] および [パワーズーム (広角側)] を割り当てたボタンを押す
  - カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で [ハイレゾズーム (望遠側)] および [ハイレゾズーム (広角側)] を割り当てたボタンを押す
  - カスタムメニュー g9 [パワーズームの操作設定 (PZ レンズ)] > [Q/QE ボタンの使用] を [ON] に設定して、Q ボタンおよび QE (?) ボタンを押す

項目	内容
[しない]	パワーズームとハイレゾズームをそれぞれ個別の操作で行います。
[する (エクステンド式)]	レンズの光学ズームが可能な範囲ではパワーズームでズーミングを行い、光学ズームの倍率を超えた範囲ではハイレゾズームでズーミングを行います。光学ズームとハイレゾズームが切り替わるタイミングで、ズーミングの動作が遅れることがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] または g2 [カスタムボタンの機能] で [パワーズーム位置の登録/呼び出し] を割り当てていても、ハイレゾズームを行っている範囲内でボタンを押した場合はズーム位置の移動は行いません。</li></ul>
[する (シンクロ式)]	光学ズームとハイレゾズームを同時に行います。途中で動作が途切れることなく、滑らかにズーミングを行えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] または g2 [カスタムボタンの機能] で [パワーズーム位置の登録/呼び出し] を割り当てていても、ズーム位置の移動は行いません。</li></ul>

---

#### ✓ パワー/ハイレゾズーム連携時のご注意

- パワー/ハイレゾズーム連携時にカスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で [レンズのコントロールリング] に [ハイレゾズーム] を割り当てても、レンズのコントロールリングでズームを行えません。
- パワー/ハイレゾズーム連携時のズーム速度は、カスタムメニュー g9 [パワーズームの操作設定 (PZ レンズ)] > [パワーズーム速度 (ボタン操作)] および [パワーズーム速度 (レバー操作)] で設定できます。
  - カスタムメニュー g8 [ハイレゾズーム速度] の設定は無効になります。
  - 装着するレンズによっては、ズーム速度の設定が無効になることがあります。
- カスタムメニュー g10 [パワー/ハイレゾズーム連携] で [する (シンクロ式)] を選んだときにパワーズームが動作することがありますが故障ではありません。

#### ✓ 本機能を使用できるレンズについて

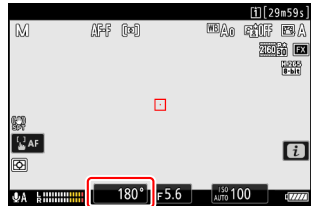
本機能は NIKKOR Z 28-135mm f/4 PZ 装着時に使用可能となる予定です (2024 年 11 月現在)。

---

# カスタムメニュー g13 として [シャッターモード] が追加

カスタムメニュー g13 として [シャッターモード] が追加されました。動画撮影時のシャッタースピードの設定方法を [シャッタースピード] または [シャッターアングル] から選べます。

項目	内容
[シャッタースピード]	シャッタースピードを秒数で設定します。
[シャッターアングル]	<p>シャッタースピードを開角度で設定します。撮影モードが <b>M</b> の場合のみシャッターアングルで設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 撮影画面と表示パネルのシャッタースピードの表示が、秒数から開角度表示に変更されます。</li><li>• 開角度は 5.6°~360°の 15 段階で設定でき、設定した開角度はフレームレートにかかわらず一定になります。</li><li>• 開角度はシャッタースピードと同様にコマンドダイヤルで変更できます。</li></ul>



## ✓ [シャッターアングル] 設定時のご注意

[シャッターモード] を [シャッターアングル] に設定している場合、次の機能が無効になります。


- 動画撮影メニュー [高周波フリッカー低減]
- カスタムメニュー g12 [シャッタースピード延長 (M モード)]

# カスタムメニュー g15 [ゼブラ表示] に [ゼブラ表示の色] が追加

カスタムメニュー g15 [ゼブラ表示] に [ゼブラ表示の色] が追加されました。ゼブラ表示をする場合に、斜線の色を [黒]、[グレー]、[赤]、[緑]、[青] から選べます。



# カスタムメニュー g18 [輝度情報の種類] に輝度情報の表示をカスタマイズする機能が追加

動画モード時の撮影画面に表示するヒストグラムまたはウェーブフォームモニターのサイズ、透明度、表示位置を変更できるようになりました。輝度情報として [ヒストグラム] または [ウェーブフォームモニター] を選び、マルチセレクターの  を押すと、表示内容を変更できます。



項目	内容
[大きさ]	ヒストグラムまたはウェーブフォームモニターの表示サイズを [大きめ] または [標準] から選べます。
[透明度]	ヒストグラムまたはウェーブフォームモニターの透明度を [1 (透明度 小)]、[2]、[3 (透明度 大)] から選べます。
[表示位置]	ヒストグラムまたはウェーブフォームモニターが表示される位置を [右上]、[右下]、[左上]、[左下] から選べます。

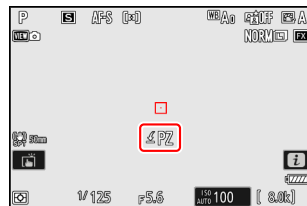
# カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] および g2 [カスタムボタンの機能] に割り当てられる機能が追加されました。

項目	内容
1/PZ [パワーズーム位置の登録/呼び出し]	ボタンを長押しすると、現在のズーム位置を登録できます。ボタンを短く押すと、登録したズーム位置に移動します。

## [パワーズーム位置の登録/呼び出し]

- パワーズームレンズを装着した状態で [パワーズーム位置の登録/呼び出し] を割り当てたボタンを長押しすると、撮影画面に 1/PZ アイコンが表示されて現在のズーム位置が登録されます。
- 登録できるズーム位置は 1 箇所のみです。変更したい場合は、ズーム位置を変更して再度割り当てたボタンを長押ししてください。



- ズーム位置が登録された状態で [パワーズーム位置の登録/呼び出し] を割り当てたボタンを押すと、登録したズーム位置に移動します。
  - ズーム位置の移動中に再度 [パワーズーム位置の登録/呼び出し] を割り当てたボタンを押すと、その位置で停止します。
- カメラの電源を OFF にしても、登録したズーム位置はリセットされません。他のレンズを装着すると、ズーム位置がリセットされます。
- パワーズームレンズ以外のレンズを装着している場合、割り当てたボタンを押しても何も動作しません。
- 動画モードの場合、カスタムメニュー g9 [パワーズームの操作設定 (PZ レンズ)] > [パワーズーム速度 (ボタン操作)] でズームの移動速度を設定できます。

### ✓ 本機能を使用できるレンズについて

本機能は NIKKOR Z 28-135mm f/4 PZ 装着時に使用可能となる予定です (2024 年 11 月現在)。

# カスタムメニュー f10 として [ズームリング操作 (PZ レンズ)] が追加

カスタムメニュー f10 として [ズームリング操作 (PZ レンズ)] が追加されました。パワーズームレンズを装着している場合のズームリングの回転方向と、広角端から望遠端までズーム位置を移動するために必要なズームリングを回す角度を設定できます。

項目	内容
[ズーム回転方向の変更]	[ON] に設定すると、ズーム操作をするときの回転方向を逆方向に変更できます。
[ズームリングの角度設定]	<ul style="list-style-type: none"><li>• 広角端から望遠端までズーム位置を移動するために必要なズームリングを回す角度を設定できます。<ul style="list-style-type: none"><li>- [レンズ初期角度 (度)] : カメラでは角度の設定を行いません。広角端から望遠端までズーム位置を移動するために必要なズームリングを回す角度は、装着したレンズにより異なります。</li><li>- [角度 45 度] ~ [角度 360 度] : カメラで角度の設定を行えます。たとえば [角度 90 度] に設定している場合、リングを 90 度回転させるとズーム位置が広角端から望遠端まで移動します。設定する値が大きいほど細かくズーム位置を調整できます。</li></ul></li><li>• カスタムメニュー g10 [パワー/ハイレゾズーム連携] で [する (イクステンド式)] を選んでいる場合、パワーズームの広角端から望遠端の範囲内でズーム位置が移動します。</li></ul>

## 本機能を使用できるレンズについて

本機能は NIKKOR Z 28-135mm f/4 PZ 装着時に使用可能となる予定です (2024 年 11 月現在)。



# カスタムメニュー f12 と g9 の [パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ)] の名称と機能が変更

カスタムメニュー f12 と g9 の [パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ)] の名称が [パワーズームの操作設定 (PZ レンズ)] に変更になりました。また、パワーズームの操作をボタンで行う場合と、レンズのズームレバーで行う場合でパワーズームの速度を変えられるようになりました。

- [パワーズーム速度] が [パワーズーム速度 (ボタン操作)] と [パワーズーム速度 (レバー操作)] に分けられました。
  - [パワーズーム速度 (ボタン操作)] : 次のボタン操作でズームングする場合の速度を設定できます。
    - $\mathcal{Q}$  ボタンおよび  $\mathcal{Q}$  (?) ボタン
    - カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] および g2 [カスタムボタンの機能] で [パワーズーム (望遠側)] および [パワーズーム (広角側)] を割り当てたボタン
  - [パワーズーム速度 (レバー操作)] : レンズのズームレバーでズームングする場合の速度を設定できます。ズームレバーのあるパワーズームレンズを装着している場合のみ有効です。
  - 動画モードの場合、動画記録待機中および動画記録中のズームングの速度をそれぞれ設定できます。
- メニューの番号が f12 から f11 に変更されています。f11 だった [フォーカス/コントロールリング 入れ換え] は f13 に変更されています。

## ✓ [パワーズーム速度 (レバー操作)] について

本機能は NIKKOR Z 28-135mm f/4 PZ 装着時に使用可能となる予定です (2024 年 11 月現在)。

## ヒント : i メニュー項目への追加

カスタムメニュー f1 および g1 [i メニューのカスタマイズ] で i メニューに割り当てられる機能として、[パワーズーム速度 (ボタン操作)] が追加されています。

- 動画モードの場合、動画記録待機中および動画記録中のズームングの速度をそれぞれ設定できます。
  - 動画記録中も撮影を中断することなくズームングの速度を変更できます。
  - パワーズーム位置の呼び出しなどでズーム動作中に速度を変更した場合は、次のズーム操作からズームング速度が反映されます。



# セットアップメニュー [メニュー設定の保存と読み込み] に対象項目が追加

セットアップメニュー [メニュー設定の保存と読み込み] で保存できる項目として、次の項目が追加されました。

- セットアップメニュー [位置情報 (内蔵)] > [位置情報記録]
- 再生時の *i* メニュー [画像編集] > [画像編集機能のカスタマイズ]

# 索引

## 索引

### マーク・英数字

C15 ([🔗 9](#))

■メニューのカスタマイズ ([🔗 35](#), [🔗 97](#))

MF時の絞り開放Lv ([🔗 33](#))

Wi-Fiアクセスポイントモード ([🔗 46](#))

Wi-Fiステーションモード ([🔗 46](#))

### ア行

オートキャプチャー ([🔗 20](#))

### カ行

カードの初期化 (フォーマット) ([🔗 42](#))

画質モード ([🔗 10](#))

画質モード (HSFC) ([🔗 10](#))

画質モード設定 ([🔗 10](#))

カスタムボタンの機能 ([🔗 37](#), [🔗 95](#))

カスタムボタンの機能 (再生) ([🔗 38](#))

カスタムボタンの機能 (撮影) ([🔗 37](#), [🔗 95](#))

画像編集機能のカスタマイズ ([🔗 28](#))

輝度情報 ([🔗 94](#))

高感度ノイズ処理モード ([🔗 11](#))

高周波フリッカー低減 ([🔗 15](#))

### サ行

再生の速度 ([🔗 27](#))

撮影機能の呼び出し (ホールド) ([🔗 36](#))

撮影メニューの拡張 ([🔗 31](#))

自動連続再生の設定 ([🔗 29](#))

シャッターモード ([🔗 92](#))

人物印象調整 ([🔗 13](#))

ズームリング操作 (PZレンズ) ([🔗 96](#))

ゼブラ表示 ([🔗 93](#))

ゼブラ表示の色 ([🔗 93](#))

送信時の HEIF 変換 ([🔗 56](#))

### タ行

縦横位置情報の記録 ([🔗 30](#))

### ハ行

ハイスピードフレームキャプチャー + ([🔗 9](#))

ハイレゾズーム ([🔗 25](#), [🔗 89](#), [🔗 90](#))

パワー/ハイレゾズーム連携 ([🔗 90](#))

パワーズーム ([🔗 90](#))

パワーズームの操作設定 (PZレンズ) ([🔗 97](#))

半押し拡大解除 (MF) ([🔗 34](#))

ピクチャーコントロール ([🔗 8](#))

美肌効果 ([🔗 12](#))

ファームウェアバージョン ([🔗 5](#))

フォーカスポイントの太さ ([🔗 32](#))

物理フォーマット ([🔗 42](#))

### マ行

メニュー設定の保存と読み込み ([🔗 98](#))

# ラ行

---

リッチトーンポートレート (📖 8)

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン